

市町村名	那覇市						
平成 2 5 年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-	観光客利便性向上施設整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 3 - (2) - ウ	
担当部課名	都市計画部 都市計画課	事業実施(予定)年度	平成24～25年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備	
						- 1 - (1)	
事業内容	観光都市としてのグレードアップを図るため、クルーズ船から旅客船ターミナルへ観光客を迎え受けるボーディングブリッジの整備を行う。						
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	24年度(繰越)	25年度	25年度(繰越)	26年度
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	18,000	-	42,000	-	
		(b)予算現額	25,500	-	42,000	-	
		(c)増減額(b-a)	7,500	-	0	-	
		(d)繰越額	-	25,500	0	24,692	
		A.計(b+d)	25,500	25,500	42,000	24,692	
	B.執行済額		0	25,500	17,308	24,692	
	うち交付金充当額		0	20,400	13,846	19,754	
	次年度繰越額		25,500	-	24,692	-	
	執行率(%) (B/A)		0.0%	100.0%	41.2%	100.0%	
予算の状況の説明		ボーディングブリッジの仕様・設計を完了し、8月より工事着手する計画だったが、クルーズ船の多様化及び大型船舶の寄港回数が増加傾向にあることから、それらに対応するための仕様・設計を見直したことにより想定以上の日数を要し、工事スケジュールに遅れが生じることとなったため、H26年度へ事業を繰越し実施した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	那覇港のボーディングブリッジ設置 1基	目 標	(仕様書作成)	ボーディングブリッジ設置 1基	()	()	
		実 績	仕様書作成、製作工事着手	ボーディングブリッジ設置 1基			
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	観光客が安全で快適に移動できるなどの利便性向上を実現するための設置が必要なボーディングブリッジについて、活動目標通り平成26年11月にボーディングブリッジ設置を完了した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	クルーズ船観光客の安全性・利便性の確保に向けた施設の強化・那覇港のボーディングブリッジ設置 1基	目 標	()	(仕様書作成)	(ボーディングブリッジ設置 1基)	()	()
		実 績		仕様書作成、製作工事着手	ボーディングブリッジ設置 1基		
	【参考指標】 沖縄21世紀ビジョン実施計画P154 那覇港におけるクルーズ船寄港回数		目 標	53回(23年)	80回(28年)	120回(33年)	() ()
	進捗状況説明	・観光客が安全で快適に移動できるなどの利便性向上を実現するための設置が必要なボーディングブリッジについて、成果目標通りボーディングブリッジ設置を完了し、平成27年5月より供用開始している。 ・那覇港の利便性を向上させることで、機能強化だけでなく、快適な旅を演出し、観光地としての知名度等を上げることに繋げる。 ・施策の推進(沖縄21世紀ビジョン実施計画P154那覇港におけるクルーズ船寄港回数)において、寄港回数増加に係るボーディングブリッジの設置を行っており、目標達成に寄与するものである。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・平成25年度はボーディングブリッジ1基を設置した。 ・船舶のボーディングブリッジ設置口の多様化や大型船に対する高さへの対応のため、ボーディングブリッジ本体の大型・特殊化に伴うバース耐力の確認に時間を要し、当初予定していた工期より長くなった。	・寄港船舶に関する情報を早めに入手し、対応船舶の絞込みや不測の事態に備える必要がある。 ・工程に遅れが生じないよう、予算要求段階から関係機関との情報共有、調整、工程会議等を密に行う必要がある。
今後の取り組み方針		
・関係機関との調整を密に行い、事業を完了した。ボーディングブリッジの適正な運用を図り、観光客の安全性かつ利便性の向上を図る。 ・引き続きクルーズ船入港時に歓迎セレモニー等を実施し、観光者数の増加を図ることさらなるボーディングブリッジを活用していく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
42,000	42,000	33,600	8,400	

那覇市
交付対象
事業費
42,000千円

補助金
42,000千円

那覇港管
理組合
42,000千円

工事費
42,000千円

三菱・仲本特定建設工事共同企業
体
992千円

三菱重工交通機器エンジニアリン
グ(株)
41,008千円

ボーディングブリッジ製作工事

ボーディングブリッジ製作工事

資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・一般競争入札の最低価格業者と契約を結んでいることから、支出先の選定方法は妥当であるとする。 ・設計時において複数の工法から最も経済的な工法を選択していることから、予算規模は事業内容に見合っていると考える。 ・費目、使途については、関連書類を確認し、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市						
平成 2 5 年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1- 公設市場環境整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章 - 3 - (8) - イ		
担当部課名	経済観光部 なはまちなか振興課	事業実施(予定)年度	平成24～25年度	沖縄振興基本方針該当箇所	商店街・中心市街地の活性化と商業の振興		
					- 1 - (1)		
事業内容	観光地としての魅力を高めるため、観光資源であるマチグーの良さを活かしつつ、中心地である公設市場の環境整備を行う。						
実施方法	■ 直接実施 ■ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	24年度(繰越)	25年度	25年度(繰越)	26年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	25,885		14,700		
		(b)予算現額	25,885		34,189		
		(c)増減額(b-a)	0	0	19,489	0	
		(d)繰越額	-	15,820	-	34,189	
	A. 計(b+d)		25,885	15,820	34,189	34,189	
	B. 執行済額		10,065	13,259	0	30,439	
	うち交付金充当額		8,052	10,607	0	24,351	
	次年度繰越額		15,820	-	34189	-	
	執行率(%) (B/A)		38.9%	83.8%	0.0%	89.0%	
予算の状況の説明		一般競争入札に7社が参加し、最低価格を提示した業者のうち1社と契約し、事業計画どおり執行できた。 なお、交付決定(H25.10.25)後の11月19日に指名競争入札を実施したが、指名業者12社中11社辞退のため入札中止となり、当初計画していた工期では執行が困難となり、年度内執行が見込まなくなったため繰越となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	第一牧志公設市場空調設備の改良工事の実施	目 標	(公設市場の環境整備)	(空調設備改良工事の実施)	()	()	
		実 績	公設市場の環境整備を行った	空調設備改良工事、工事監理の実施			
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	第一牧志公設市場の空調設備が機能低下していたため、1階、2階部分の空冷チラー(熱交換器)の取替え及び圧縮機等のオーバーホール作業を行い機能向上を図った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	第一牧志公設市場空調設備の改良工事の実施	目 標	()	公設市場の環境整備	空調設備改良工事の実施	()	()
		実 績		公設市場の環境整備を行った	空調設備改良工事、工事監理の実施		
		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	精肉鮮魚を扱い、食堂を併設する公設いちばにおいて、衛生管理上、適正室温の維持は重要である。 また、年間推定約230万人(うち7割は観光客)が訪れる当該施設において空調の機能向上による快適な空間が提供できるようになり、来訪者が気持ちよく回遊することができるようになった。					

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	亜熱帯地域にある沖縄では、熱い夏場期間中は空調を止めることができないため、11月以降にしか工事を行うことができなかった。 中心商店街密集地にあり、周囲は歩行者専用道路に囲まれた環境で、資材搬入等に若干の課題もあったが、受託事業者の知識や経験等により、スムーズに処理することができた。 当該施設はTV等のマスコミに数多く紹介されており、県外国外から多くの来訪者がある中心商店街の核となる施設なので、施設内環境の悪化により来訪者から「行きたいくない施設」と評価されて来訪者数に影響が出ると、周辺一帯の商店街にも影響が出る危険性があった。	空調機器の負担を軽減するとともに涼しい空間を維持していくためにも、火器を扱う業者が使用する換気扇等の掃除を行い、熱気を客席に流さない取り組みが必要。 当該整備に必要な機材を搬入して完成までは受注してから約4カ月を見越していたため、11月に実施した入札で受託業者が決定したら年度内に完成できる予定であったが、平成25年は全国的に作業員や技師が不足している状況であることから、入札辞退者多く不落となったため、改めて入札準備期間を含めると年度内での完成がスケジュール的に困難になったことから繰越事業となった。
今後の取り組み方針		
第一牧志公設市場には年間約230万人(推定値)が訪れる中心商店街の中心となる施設であり、亜熱帯地域にある沖縄で来訪者が快適に買物や飲食を楽しめるためには、涼しくて快適な空間の確保は必須事項であることから、定期的な設備の点検を行い、この良くなった環境を継続して維持していきたい。 また、市場使用者に対し、火器を扱う業者が使用する換気扇等の掃除を行い熱気を客席に流さない取り組みを行うため、説明会等にて換気扇清掃の必要性を周知し、清掃作業の推進に努める。		

今後の取り組み方針

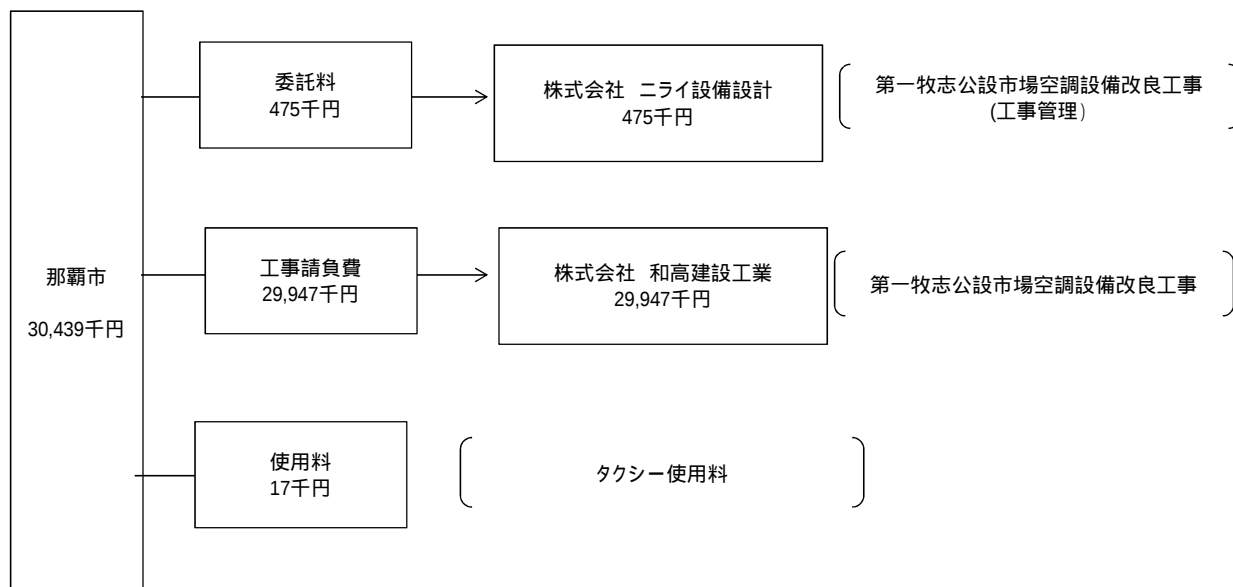
第一牧志公設市場には年間約230万人(推定値)が訪れる中心商店街の中心となる施設であり、亜熱帯地域にある沖縄で来訪者が快適に買物や飲食を楽しむためには、涼しくて快適な空間の確保は必須事項であることから、定期的な設備の点検を行い、この良くなった環境を継続して維持していきたい。

また、市場使用者に対し、火器を扱う業者が使用する換気扇等の掃除を行い熱気を客席に流さない取り組みを行うため、説明会等にて換気扇清掃の必要性を周知し、清掃作業の推進に努める。

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額		市町村 負担金	交付対象 外経費
30,439	30,439	24,351	6,088		0



資金の 使途の 流れ、 費目、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○ 委託及び工事の業者選定は一般競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。 ○ 予算規模については不用額は375万円であるが、予算作成時には4社見積もりによる積算や県の積算基準を用いるなど十分精査して決定していることから予算規模は適切であったと考えている。 ○ 費目・使途について事業目的達成の観点から必要なもののなか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市						
平成 2 5 年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-	バス停上屋整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 1 - (7) - ウ	
担当部課名	建設管理部 道路建設課	事業実施(予定)年度	平成24～28年度		沖縄振興基本方針該当箇所	人に優しい交通手段の確保	
事業内容	観光都市としてのグレードアップを図るため、観光客等が沖縄の強烈な日差しや風雨を避け快適に公共交通機関を利用してもらえるよう、バス停上屋を整備する。						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a)当初予算額	24年度	24年度(繰越)	25年度	25年度(繰越)	26年度
		(b)予算現額	57,000		91,698		
		(c)増減額(b-a)		0	0	0	
		(d)繰越額	-	53,500	-	87,133	
		A.計(b+d)	57,000	53,500	91,698	87,133	
	B.執行済額	うち交付金充当額	3,392	50,108	4,565	86,807	
		うち交付金充当額	2,713	40,087	3,650	69,447	
		次年度繰越額	53,500	-	87,133	-	
		執行率(%) (B/A)	6.0%	93.7%	5.0%	99.6%	
	予算の状況の説明	・関係機関との調整に時間を要したことから、その大半を次年度に繰越することとなった。 ・繰越額については、計画していた実施設計業務委託や上屋設置工事にて執行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	バス停上屋の設置:13基	目 標	(5基)	(13基)	()	()	
		実 績	5基	8基			
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	関係機関との調整が整ったバス停8基(牧志駅前、安謝1丁目、真嘉比(上・下)、松川西(上・下)、首里城南口、金城町)のみの設置となり、当該権利者からの理解を得ることができずに目標を達成することができなかったが、次年度以降の工事でバス停上屋の設置を行う。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	バス停上屋の設置:13基	目 標	()	(5基)	(13基)	()	()
		実 績		5基	8基		
		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	関係機関との調整が整ったバス停8基(牧志駅前、安謝1丁目、真嘉比(上・下)、松川西(上・下)、首里城南口、金城町)のみの設置となり、当該権利者からの理解を得ることができずに目標を達成することができなかったが、次年度以降の工事でバス停上屋の設置を行いたい。 なお、着実にバス停上屋の設置が進んでいることから、快適な公共交通機関の利用環境が図られ、観光都市としてのグレードアップに繋がっている。					

市町村名	那覇市						
平成 2 5 年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-	交流オアシス整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ	
担当部課名	建設管理部 道路建設課	事業実施(予定)年度	平成24～29年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備	
						- 1 - (1)	
事業内容	観光都市としてのグレードアップを図るため、公有地及び道路残地等を活用した小広場、オープンスペース(交流スペース)の整備を行い、観光客と市民との交流・憩いの場を創出する。						
実施方法	■ 直接実施 ■ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		24年度	24年度(繰越)	25年度	25年度(繰越)	26年度
		(a)当初予算額	6,000		82,500		
		(b)予算現額	6,000		82,500		
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	
		(d)繰越額	-	4,773	-	80,827	
	A. 計(b+d)		6,000	4,773	82,500	80,827	
	B. 執行済額		1,102	4,773	1,673	80,827	
	うち交付金充当額		881	3,819	1,338	64,662	
	次年度繰越額		4,773	-	80,827	-	
	執行率(%) (B/A)		18.4%	100.0%	2.0%	100.0%	
予算の状況の説明		整備候補地の権利者との調整に不測の日数を要したことから、年度内での事業完了が困難となり繰越すこととなった。繰越額については、整備候補地の権利者調整が進み、土地購入により全額執行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	交流オアシスの設置:6箇所	目 標	(策定)	(6箇所)	()	()	
		実 績	策定の実施	土地購入(5件)			
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	当該事業を進める上で、整備箇所の大半が土地購入を伴うため、地権者の理解が得られない限り実施設計および工事ができない。そのため事業の円滑な実施のため、「土地の購入を優先」とする事業計画へ見直しを行うこととした。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	交流オアシスの設置:6箇所	目 標	()	(策定)	(6箇所)	()	()
		実 績		策定の実施	土地購入(5件)		
		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	「土地の購入を優先」とする事業計画へ見直しすることで、今後、実施設計及び整備工事等を円滑に進めることができ、事業の効果を早期に発現することに繋がる。整備のデザインについて、地域から要望が出たため、土地購入を優先した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・「土地の購入を優先」とする事業計画へ見直すことで、実施設計及び整備工事を円滑に実施することができる。しかし、交流オアシスの整備には、大半が土地の購入が必要であるため、権利者の理解を早期に得られるかが課題である。 ・整備の実施にあたっては、意匠の統一も重要な課題である。	・土地購入を優先させたことで、当初予定の進捗に遅れがでているものの、今後、まとめて整備工事等へ繋がることから、適切な進捗へ改善が図られる。なお、土地の購入にあたっては、他都市の良い事例を紹介しつつ本事業の目的等をしっかりと説明し、粘り強く権利者との調整にあたり、整備地の確保に努める。 ・現在進めている「デザインコンセプト作成業務」の中で、整備地の各地区の特性をいかしつつ意匠の統一に努める。 ・デザインの要望に対しては、地域との意見交換を通して理解を得ることで、円滑な事業の進捗を図る。
今後の取り組み方針		
・権利者等との調整を密に実施し、本事業の適切な進捗管理を図る。 ・適宜、実施設計及び整備工事を実施し、観光客と市民との交流及び憩いの場づくりが確保できるよう努める。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)						
		総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
		82,500	82,500	66,000	16,500	

那覇市
82,500千円

役務費
2,475千円

委託料
1,277千円

土地購入費
78,748千円

→ 株式会社松永不動産鑑定事務所 222千円

→ 一般財団法人 日本不動産研究所 222千円

→ (有)平良不動産鑑定事務所 133千円

→ 株式会社仲本不動産鑑定研究所 158千円

→ (有)アルファ不動産鑑定 100千円

→ 株式会社バード不動産鑑定所 222千円

→ 株式会社福治不動産鑑定所 152千円

→ 株式会社沖縄地所鑑定 370千円

→ 株式会社あい不動産研究所 378千円

→ BAN鑑定所 151千円

→ 株式会社琉球総合鑑定 173千円

→ (有)田村総合鑑定事務所 194千円

→ 上原信一 土地家屋調査士事務所 260千円

→ 松茂良土地家屋調査士事務所 415千円

→ 松茂良土地家屋調査士事務所 602千円

個人5名 78,748千円

〔 交流オアシス整備事業に伴う土地鑑定評価業務(その1の1) 〕

〔 交流オアシス整備事業に伴う土地鑑定評価業務(その1の2) 〕

〔 交流オアシス整備事業に伴う土地鑑定評価業務(その2の1) 〕

〔 交流オアシス整備事業に伴う土地鑑定評価業務(その2の2) 〕

〔 交流オアシス整備事業に伴う土地鑑定評価業務(その5の1) 〕

〔 交流オアシス整備事業に伴う土地鑑定評価業務(その5の2) 〕

〔 交流オアシス整備事業に伴う土地鑑定評価業務(その6の1) 〕

〔 交流オアシス整備事業に伴う土地鑑定評価業務(その6の2) 〕

〔 交流オアシス整備事業に伴う土地鑑定評価業務(その7の1) 〕

〔 交流オアシス整備事業に伴う土地鑑定評価業務(その7の2) 〕

〔 平成26年度交流オアシス整備事業に伴う土地鑑定評価業務(その1の1) 〕

〔 平成26年度交流オアシス整備事業に伴う土地鑑定評価業務(その1の2) 〕

〔 平成26年度小禄8号用地測量業務委託 〕

〔 平成26年度壺屋牧志線用地測量業務委託 〕

〔 平成26年度牧志13号用地測量業務委託 〕

〔 交流オアシス整備事業に必要な用地の購入 〕

資金の 使途の 流れ、 点検 評価 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○ 委託料の執行にあたっては、一般競争入札方式等により業者を選定しており、妥当であったと考えている。 ○ 予算規模については、適正な規模であったと考えている。 ○ 費目及び使途の事業目的については、予算執行何及び工事完了検査等において確認しており、適正であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市						
平成 2 5 年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-	歴史散歩道整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ	
担当部課名	建設管理部 道路建設課	事業実施(予定)年度	平成24～32年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備	
						- 1 - (1)	
事業内容	観光都市としての景観・美観の創出・継承のため、壺屋地区 当蔵1号 うしゅがなしーめーい等の道路の公共空間において、路面改良、道路緑化・美化を行う。						
実施方法	■ 直接実施 ■ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		24年度	24年度(繰越)	25年度	25年度(繰越)	26年度
		(a)当初予算額	158,600		249,607		
		(b)予算現額	158,600		249,607		
		(c)増減額(b-a)	0		0	0	
		(d)繰越額	-	141,706	-	204,448	
	A. 計(b+d)		158,600	141,706	249,607	204,448	
	B. 執行済額		16,863	124,843	45,158	177,021	
	うち交付金充当額		13,490	99,874	36,126	141,617	
	次年度繰越額		141,706	-	204,448	-	
	執行率(%) (B/A)		10.6%	88.1%	18.1%	86.6%	
予算の状況の説明		・整備工事に向けた実施設計を進める中で、地元自治会等との調整に不測の日数を要し、整備工事の着手には至らなかった。 ・整備工事については、繰越をしての執行となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	歴史散歩道設置:4地区	目 標	(4地区)	(4地区)	()	()	
		実 績	4地区	4地区			
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	首里城と識名園を結ぶ宿道(首里寒川町、首里金城町、繁多川及び字真地)において、歴史散歩道に相応しい整備として、植栽等による緑陰の確保や快適な歩行空間の確保が図られ目標は達成となった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	歴史散歩道設置:4地区	目 標	()	(4地区)	(4地区)	()	()
		実 績		4地区	4地区		
		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	首里城と識名園を結ぶ宿道(首里寒川町、首里金城町、繁多川及び字真地)において、歴史散歩道に相応しい整備として、植栽等による緑陰の確保や快適な歩行空間の確保が図られ目標は達成となった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・整備路線の整備の実施設計において、地域の方々(自治会等)との意見交換等、関係機関との調整に不測の時間を要する。 ・歴史散歩道には、個々の歴史を感じてもらうために案内板等を設けた休憩スペース(ポケットパーク)も必要であり、そのスペースの確保には、土地の購入等も必要である。 ・土地購入に当たり、権利者との調整に不測の時間を要する。	・自治会等、地域の方々との意見交換は必要であり、意見交換会の進め方等、創意工夫を行い事業の進捗向上を図る。 ・土地の購入にあたっては、本事業の目的等をしっかりと説明し、粘り強く(権利者との調整に当たり、休憩スペースの確保に努める。
今後の取り組み方針		
・自治会等、関係者との調整を密に行い、本事業の適切な進捗管理を図る。 ・休憩スペースは必要な施設であり、権利者との調整を粘り強く行い、休憩スペースの確保を図る。 ・完成した路線については、リーフレットやホームページによる案内を行い、散歩道の利用促進を図る。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)						
		総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
		222,179	222,179	177,743	44,436	

那覇市
222,179千円

事務費
102千円

役務費
1,189千円

委託費
19,348千円

工事費
196,385千円

土地購入費

旅費

那覇不動産鑑定(株) 303千円
(株)まるい鑑定所 293千円
ニライカナイ・アセット・コンサルティング(株) 300千円
(株)沖縄不動産総合鑑定所 293千円
(株)沖縄成コンサルタント 1,079千円
(有)アーバンエンジニアリング 966千円
(有)大信土木設計 3,268千円
(株)南城技術開発 5,594千円
(株)真南風 5,370千円
(株)南城技術開発 400千円
(株)あすもり建設コンサルタント 497千円
(株)与那嶺測量設計 1,620千円
金城土地家屋調査士事務所 554千円
(株)琉球建設産業(株) 27,158千円
(株)奥浜組 431千円
(有)名徳工務店 27,410千円
(株)沖縄総建 29,257千円
(株)沖栄建設 29,257千円
(有)大進建設 82,872千円
個人2件 5,155千円

歴史散歩道整備事業に伴う土地鑑定評価業務について(その1の1)

歴史散歩道整備事業に伴う土地鑑定評価業務について(その1の2)

歴史散歩道整備事業に伴う土地鑑定評価業務について(その2の1)

歴史散歩道整備事業に伴う土地鑑定評価業務について(その2の2)

平成25年度 歴史散歩道実施設計業務委託(その1)

平成25年度 歴史散歩道実施設計業務委託(その2)

平成25年度 歴史散歩道実施設計業務委託(その3)

平成25年度 歴史散歩道実施設計業務委託(その4)

平成25年度 歴史散歩道実施設計業務委託(その5)

平成26年度 歴史散歩道実施設計業務委託(赤田寒川線)

平成26年度 歴史散歩道実施設計業務委託(上間三原線)

平成26年度 歴史散歩道実施設計業務委託(その1)

平成26年度 上間三原線用地測量業務委託

平成25年度 歴史散歩道整備工事(しんかぬちャーまーい)

平成25年度 歴史散歩道整備工事(壺屋地内その1)

平成26年度 首里寒川町地内歴史散歩道整備工事

平成26年度 首里寒川町地内歴史散歩道整備工事(その2)

平成26年度 首里寒川町地内歴史散歩道整備工事(その3)

平成26年度 歴史散歩道整備工事(上間三原線その1)

たまり空間整備に必要な用地の購入

資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○ 委託料の執行にあたっては、一般競争入札方式等により業者を選定しており、妥当であったと考えている。 ○ 予算規模については不用額27,427千円(主に土地購入費残)であるが、権利者調整に不測の時間を要し、実施に至らなかったものであり、適正な規模であったと考えている。 ○ 費目及び使途の事業目的については、予算執行何及び工事完了検査等において確認しており、適正であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市						
平成 2 5 年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-	亜熱帯庭園都市の道路美化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 3 - (2) - ウ	
担当部課名	建設管理部 道路管理課		事業実施(予定)年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備	
						- 1 - (1)	
事業内容	観光都市としての景観・美観の創出・継承のため、幹線市道や観光地周辺市道の街路樹の緑化や美化を推進する。						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	24年度(繰越)	25年度	25年度(繰越)	26年度
	予算の状況	(a)当初予算額	126,550		4,100		
		(b)予算現額	126,550		131,500		
		(c)増減額(b-a)	0		127,400	0	
		(d)繰越額	-	69,587	-	69,556	
		A.計(b+d)	126,550	69,587	131,500	69,556	
	B.執行済額		56,963	69,567	61,944	69,556	
	うち交付金充当額		45,570	55,654	49,555	55,644	
	次年度繰越額		69,587	0	69,556	0	
	執行率(%) (B/A)		45.0%	100.0%	47.1%	100.0%	
予算の状況の説明		剪定、除草及び設計業務は、年度内で執行することができた。植栽工事については、当該設計業務において苗場での樹種確認に時間を要したことから、結果的に樹種の選定が遅れてしまったため、繰越を余儀なくされた。残予算は繰越により執行する。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	幹線道路及び観光地周辺市道の除草(街路樹の剪定、植樹等)	目標	(剪定 1350本 植樹480本)	(剪定 1350本 植樹 180本)	()	()	
		実績	剪定 1361本 植樹 538本	剪定 1831本 植樹 231本			
	幹線道路及び観光地周辺市道の除草(地被植物等植栽)	目標	()	(植栽 2600㎡)	()	()	
		実績		植栽 830㎡			
達成状況説明	交付金対象路線の内、25年度は12路線の剪定を実施し、目標本数を上回ることが出来た。街路樹の植樹(補植)についても、目標本数を上回ることが出来た。地被植物等の植栽について、同路線内での整備計画の見直し等により目標を達することができなかったが、次年度以降の工事で植栽を行いたい。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	幹線道路及び観光地周辺市道の除草(街路樹の剪定、植樹等)	目標	(0 本)	(剪定1350本 植樹480本)	(剪定1350本 植樹180本)	()	()
		実績		剪定 1361本 植樹 538本	剪定 1831本 植樹 231本		
	幹線道路及び観光地周辺市道の除草(地被植物等植栽)	目標	(0 本)	()	(植栽 2600㎡)	()	()
		実績			植栽 830㎡		
	進捗状況説明	幹線道路及び観光地周辺市道において、街路樹の剪定、除草及び街路樹の植樹(補植)を計画的に実施することによって観光都市としての景観、美観形成が施されて、主要路線のイメージアップにつながった。地被植物の植栽工事(天久安里線)については、設計の見直しに伴い工事発注区間の変更を行ったため、それに伴い目標としていた整備面積を達成できなかったが、イメージアップにはつながった。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	・事業1年目において、市内の主要幹線市道の良好な景観を創出するため街路樹の剪定手法を定めた「那覇市亜熱帯庭園都市街路樹管理ガイドブック」を作成した。また、事業2年目であり施工者や市民等へ当該ガイドブックを作成した趣旨や剪定手法について、周知・理解が不十分であるので今後、どのように周知拡大させるか課題である。 ・県内で樹木が不足気味なこともあり、市が候補樹種としている樹種の確保が課題である。 ・成果目標が未達成であった天久安里線の植栽工事については、工事区間の見直しに応じた成果目標とすることが必要である。	・関係者に対して適宜に剪定ガイドブックの策定した経緯、趣旨等を行うことで当該ガイドブックに周知拡大へ繋げていきたい。剪定施工者に対しては施工計画書等で剪定イメージを共有した上で適切な時期に実施するよう徹底したい。地域住民への周知の際はイメージ図等を利用することも検討する。 ・沖縄県苗組合等の関係団体等と圃場の状況について、情報共有に努める。 ・天久安里線の植栽工事については、工事区間の見直しを踏まえた成果目標を計画する。

今後の取り組み方針
街路樹の剪定、植樹については、台風による影響を最小限に抑えるため適切な時期に剪定、植樹が実施できるように進める。また、継続して施工者の施工計画書の作成時において、当該ガイドブックの周知を図り、理解力高め、業務効率化や技術的な向上が図れるよう努める。沖縄県苗組合等の関係団体等と定期的に本市の発注状況等を提供することで情報共有・交換に努め、早期に樹木が確保できるよう努める。

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
		総事業費	交付対象事業費	交付対象外経費
		131,500	131,500	
			交付金充当額	市町村負担金
			105,200	26,300
那覇市 131,500千円 委託料 41,000千円 工事費 90,500千円 有限会社新生造園 19,300千円 株式会社リッチグリーン 16,700千円 株式会社トビカルグリーン設計 5,000千円 有限会社繁樹園 1,218千円 有限会社みね造園 2,625千円 平成25年度泊36号外1路線植栽工事共同企業体 10,431千円 有限会社オキクン開発 1,184千円 有限会社豊造園 5,486千円 末吉園株式会社 28,900千円 株式会社桃原農園 25,360千円 金秀グリーン株式会社 15,296千円 平成25年度街路樹美化業務委託(その1) 平成25年度街路樹美化業務委託(その2) 地被植物植栽検討業務委託 平成25年度鳥堀12号植栽工事 H25真嘉比古島第二植栽工事 平成25年度泊36号外1路線植栽工事 平成25年度泉崎松尾線外3路線植栽工事 平成25年度天久安里線植栽工事(その1) 平成26年度天久安里線植栽工事(その2) 平成26年度天久銘苅線外4路線植栽工事 平成26年度泊36号外1路線植栽工事				
資金の流点、検評価	評価	点検項目	評価に関する説明	
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○ 委託事業者は指名競争入札により選定しており、妥当であったと考えている。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○ 予算規模については不用額は0円であり、適正な規模であったと考えている。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○ 費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について、額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	那覇市						
平成 2 5 年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-	亜熱帯庭園都市の公園美化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ	
担当部課名	建設管理部 公園管理課		事業実施(予定)年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備	
						- 1 - (1)	
事業内容	観光都市としての景観・美観の創出・継承のため、観光地周辺公園の緑化と美化、植栽・トイレ等の整備を行う。また、観光都市として相応しい景観づくりのため漫湖公園にある巨大モニュメント(遊具)の化粧及び観光地に相応しい演出のため新都心公園水の道霧の噴水広場の機能強化の整備を図る。						
実施方法	■ 直接実施 ■ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	24年度(繰越)	25年度	25年度(繰越)	26年度
	予算の状況	(a)当初予算額	43,856		135,700		
		(b)予算現額	43,856		221,097		
		(c)増減額(b-a)	0	0	85,397	0	
		(d)繰越額	-	27,817	-	120,388	
		A.計(b+d)	43,856	27,817	221,097	120,388	
	B.執行済額		16,039	27,817	100,709	120,388	
	うち交付金充当額		12,831	22,253	80,567	96,310	
	次年度繰越額		27,817	-	120,388	-	
	執行率(%) (B/A)		36.6%	100.0%	45.5%	100.0%	
予算の状況の説明		業務委託・若狭公園便所整備・福州園整備は平成25年度内に完了した。クジラ塗装・霧噴水改修は資材の納入遅れによる工期延長を行い平成26年度に完了した。漫湖公園・牧志公園便所改修・若狭便所外構は平成26年度発注し全額執行済					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	・観光地周辺公園のトイレ整備設計等:4棟 ・観光地周辺公園のトイレ整備等:4棟 ・観光地周辺公園のトイレ清掃等:23棟	目 標	(2棟 70本 225本)	(トイレ設計 トイレ整備 トイレ清掃)	()	()	
		実 績	2棟 70本 225本	4棟 4棟 23棟			
	・新都心公園水の道霧の噴水広場の機能強化整備 ・漫湖公園巨大モニュメント(遊具)の塗装 ・福州園の樹木植栽: 191本	目 標	()	(噴水整備 塗装工事 樹木植栽)	()	()	
		実 績		1箇所 1箇所 191本			
達成状況説明	福州園トイレ整備・樹木植栽、与儀公園サクラ植樹は平成24年度完了する。トイレ設計、トイレ清掃、公園樹木剪定、福州園植栽工事、若狭公園トイレ工事1棟に関しては、平成25年度内完了したが、工事の一部、新都心公園霧噴水整備、漫湖公園クジラ塗装、漫湖公園・牧志公園トイレ4棟は平成26年度へ繰り越し工事を完了した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	・観光地周辺公園のトイレ整備設計等:4棟 ・観光地周辺公園のトイレ整備等:4棟 ・観光地周辺公園のトイレ清掃等:23棟	目 標	()	(2棟 70本 225本)	(4棟 4棟 23棟)	()	()
		実 績		2棟 70本 225本	4棟 4棟 23棟		
	・新都心公園水の道霧の噴水広場の機能強化整備 ・漫湖公園巨大モニュメント(遊具)の塗装 ・福州園の樹木植栽: 191本	目 標	()	()	(1箇所 1箇所 191本)	()	()
		実 績			1箇所 1箇所 191本		
	進捗状況説明	福州園トイレ整備・樹木植栽、与儀公園サクラ植樹は平成24年度完了する。トイレ設計、トイレ清掃、公園樹木剪定、福州園植栽工事、若狭公園トイレ工事1棟に関しては、平成25年度内完了したが、工事の一部、新都心公園霧噴水整備、漫湖公園クジラ塗装、漫湖公園・牧志公園トイレ4棟は平成26年度へ繰り越し工事を完了した。整備完了したトイレ5棟・霧噴水1箇所を供用開始した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・設計施工を同一年度内に実施するのは適正工期を確保できない恐れがある ・建設工事の需要増で技術者の確保が困難なため入札不調が発生した ・各公園には常駐する管理人がいないため、利用者満足度の測定が困難である。	・設計業務を先行して行い工事施工を設計年度以降に行うことで適正工期の確保を行う ・現場代理人等の複数工事兼任を認めることで施工業者の技術者不足による入札辞退を減少させる。 ・公園利用者の満足度を業務委託により調査する。
今後の取り組み方針		
・観光地周辺公園の美化と緑化、トイレ等整備の効果測定を目的とした公園利用者の満足度調査を実施し計画の見直しを行いたい。 [今後の予定] ・平成26年度:波の上ビーチシャワー棟設計、松山公園トイレ整備工事等 ・平成27年度:波の上ビーチシャワー棟整備工事等 ・平成28年度以降(与儀公園便所整備工事、他4公園)		

資金の流れ							
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)							
		総事業費		交付対象事業費	交付対象外経費		
		交付金充当額		市町村負担金			
		221,097		221,097	176,877	44,220	
那覇市 221,097千円		委託料 27,050千円		清掃業務 8,400千円		(有)中央環境サービス公社 8,400千円	(平成25年度公園トイレ清掃業務委託)
				設計業務 8,440千円		金秀グリーン(株)、他4社 8,440千円	(平成25年度公園内樹木調査業務)
				樹木剪定業務 10,210千円		金秀グリーン(株) 10,210千円	(平成25年度公園内樹木剪定業務)
		工事費 194,047千円		建築工事 54,306千円		星南(株)、他3社 54,306千円	(平成25年度若狭公園便所整備工事(建築)他3件)
				設備工事 30,336千円		(株)クリエイトES、他3社 30,336千円	(平成25年度若狭公園便所工事)
				造園工事 22,188千円		(有)西原農園 22,188千円	(平成25年度福州園整備工事(植)
				塗装工事 30,242千円		(株)沖縄創研工業 30,242千円	(平成25年度漫湖公園クワ塗装工事、他1件)
				電気設備工事 55,679千円		金城電気工事(株) 55,679千円	(平成25年度新都心公園霧噴水改修工事)
				外構工事 1,296千円		(株)桃原農園 1,296千円	(平成26年若狭公園便所整備工事(外構)
資金の流点、費目・用途の検証	評価	点検項目			評価に関する説明		
	○	支出先の選定方法は妥当か。			・各業種ごとに競争入札による契約を実施しているので妥当と判断 ・積算基準に基づいた積算を行っており適正と判断する。 ・委託料、工事費のみを計上しており適正と判断		
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。					
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。					
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。					

市町村名	那覇市						
平成 2 5 年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-53	首里金城町無電柱化推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ	
担当部課名	建設管理部 道路建設課	事業実施(予定)年度	平成25～31年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備		
事業内容	首里金城町は、琉球王朝以来のまちなみや多くの文化財をよく残している地区で、昔ながらの風景を保全及び創出する必要がある。本事業は、電線類を地中化し、観光地の景観の向上を図り快適な歩行空間を確保する「景観強化事業」として取り組んでいくものである。						
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		25年度	25年度(繰越)	26年度	27年度	28年度
		(a)当初予算額	5,000	-			
		(b)予算現額	5,000	-			
		(c)増減額(b-a)	0	-			
		(d)繰越額	-	3,500			
	A.計(b+d)		5,000	3,500			
	B.執行済額		1,500	3,500			
	うち交付金充当額		1,200	2,800			
	次年度繰越額		3,500				
	執行率(%) (B/A)		30.0%	100.0%			
予算の状況の説明		無電柱化に向けた技術検討等について、電線管理者との調整に不測の日数を要したため繰越すこととなった。繰越額については、電線管理者との調整が進み全額執行となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
				25年度	26年度	27年度	28年度
	実施設計 1工区:金城東西線 外4路線 (延長478m)	目 標	(実施設計)	()	()	()	
		実 績	実施設計				
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	金城東西線外4路線(延長478m)において、電線類を地中化するための実施設計を完了させ達成となった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値 (年度)	25年度	26年度	27年度	目標値 (年度)
	実施設計 1工区:金城東西線 外4路線 (延長478m)	目 標	()	(実施設計)		()	()
		実 績		実施設計			
		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	金城東西線外4路線(延長478m)において、電線類を地中化するための実施設計を完了させ達成となった。今後、電線類を地中化するための工事及び入線、既設電柱(架空線含)の撤去を進め、景観の向上及び快適な歩行空間の創出を図る。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・当該路線は有効幅員が約2.7mと狭隘であり、その中へ、電線類、上水道及び下水道を敷設していかなければいけない。 ・各電線管理者の配線計画に不測の時間を要する。 ・道路整備のスケジュールをはじめ、各占有者との調整に不測の時間を要する。	・当初予定より進捗に遅れがでているものの、道路整備のスケジュール及び各占有者との調整を密に実施することで適切な進捗へ改善を図りたい。 ・当該路線の整備がモデルケースとなるよう取り組むことで、残る路線整備のスムーズな進捗に繋がり、首里金城地区の景観の向上及び快適な歩行空間の創出を図る。
今後の取り組み方針		
・当該路線の整備がしっかりとしたモデルケースとなるよう、関係者との調整を密に実施し、本事業の適切な進捗管理を図る。 ・適宜電線類を地中化できるよう各電線管理者と連携を図り、当該地区の景観強化事業の取り組みを強化する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5,000</td><td>5,000</td><td>4,000</td><td>1,000</td><td></td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	5,000	5,000	4,000	1,000	
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
5,000	5,000	4,000	1,000											
那覇市 5,000千円 委託費 5,000千円 アート技研(株) 5,000千円 (首里金城地区細街路電線共同溝設計業務委託)														
資金の流 使途の 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○ 委託料の執行にあたっては、指名競争入札方式により業者を選定しており、妥当であったと考えている。 ○ 予算規模については、適正な規模であったと考えている。 ○ 費目及び使途の事業目的については、予算執行何及び工事完了検査等において確認しており、適正であったと考えている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	那覇市						
平成 2 5 年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-54	那覇・福州友好都市交流シンボルづくり事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ	
担当部課名	建設管理部 花とみどり課		事業実施(予定)年度	平成25年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備	
						- 1 - (1)	
事業内容	観光都市としての景観づくりと、中国福州市との友好都市交流のシンボルとなるよう、巨大龍像を制作し、那覇ふ頭旅客パースやうみそらトンネルからの観光客を迎え入れる那覇市の新たな玄関口となる若狭緑地へ設置する。						
実施方法	■ 直接実施 ■ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		25年度	25年度(繰越)	26年度	27年度	28年度
		(a)当初予算額	130,000	-			
		(b)予算現額	143,000	-			
		(c)増減額(b-a)	13,000	-			
		(d)繰越額	-	143,000			
	A. 計(b+d)	143,000	143,000				
		B. 執行済額	0	58,183			
		うち交付金充当額	0	46,546			
	次年度繰越額	143,000	-				
	執行率(%) (B/A)	0.0%	40.7%				
予算の状況の説明	実施設計において、シンボル像のデザイン等の調整に不測の日数を要したことから製作工事の発注が遅れたため繰越した。 その後、施工監理及び2本目分の製作及び設置工事の一部を実施したが、2本目分の製作工事の一部及び設置工事の一部について、架設に係る人材確保が難しい等のため、請負業者との契約を解除したことから事業の遂行が困難となった。既に執行した出来高を除き、交付決定の一部取消しがなされ、交付金額は約5,100万円になった。 また、契約解除に伴う違約金額の相殺に基づき、交付金額4,473千円の報告減となった。						
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
	シンボル施設の製作・設置		25年度	26年度	27年度	28年度	
		目 標	(シンボル施設の製作・設置)	()	()	()	
		実 績	シンボル施設の 一部製作・一部設置				
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
	達成状況説明	施工監理及び2本目の製作・設置工事の一部を実施したが、2本目分の製作工事の一部及び設置工事の一部について、架設に係る人材確保が難しい等のため、内閣府と事故繰越の調整を行っていたが、請負業者との契約期限に至ったことから、事故繰越の手続きを断念し、やむなく申請を取り下げることとした。そのため、事業の一部の遂行が困難となり、既に執行した出来高を除き、交付決定の一部取消しがなされた。					
成果目標(指標)及び進捗状況		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)	
	シンボル施設の製作・設置	目 標	()	(シンボル施設の製作・設置)	()	()	()
		実 績		シンボル施設の一部製作・一部設置			
		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	請負業者との契約を解除したことから、事業の一部の遂行が困難となった。今後は、那覇市の単独事業として、シンボル像の完成に向けて取り組むとともに、完成後は関係課と連携し那覇市の新たな観光スポットとなるよう事業を推進する。					

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化) H24年度からH25年度に繰越した予算で実施した実施設計において、シンボル像を当初予定していた1基から2基とすることを決定し、H25年度事業として新たに1基分の予算の交付決定を受けた。2基が完成し初めて成果をなすことから同一事業ととらえ、H24年度予算では、2基の製作工事、H25年度予算では、2基の設置工事として発注を行った。 この点、各年度事業で1基ずつ設置することとした交付決定の内容に基づいた予算措置がなされていなかったことから、当初の交付決定額が減額されるという交付決定の一部取消しがなされた。 施工においては、架設に係る人材確保等の課題があったことから工事を完了できなかった。	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点) 那覇市の単独事業として完成に向け適切な対応をとることを前提に、交付決定の一部取消しがなされたことから、今後は、那覇市の単独事業として残った工事の完成に向けて、工事受注者と綿密な調整を行いスムーズな工事進捗に努めて行くこととする。
	今後の取り組み方針 当該事業の早期完成を目指し、県外、海外へ観光都市那覇として、ホームページなどにより広くPRを行う。 また、シンボル像が、クルーズ船観光客をはじめとする観光で訪れた方々に観光都市那覇へ到着したという実感、インパクトを与え、那覇市の新たな観光スポットとしての取り組みにより観光振興に資する効果が得られるよう努める。	

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 千円)

総事業費	交付対象 事業費			交付対象 外経費
		交付金 充当額	市町村 負担金	
63,774	58,183	46,546	11,637	5,591

```

            graph LR
            A[那覇市  
63,774千円] --> B[委託料  
17,172千円]
            A --> C[工事請負費  
46,602千円]
            B --> D["委託料  
(有)構研テクノス  
17,172千円"]
            C --> E["工事請負費  
(株)沖栄建設  
6,483千円"]
            C --> F["工事請負費  
琉球建設産業(株)  
40,119千円  
(交付対象: 34,528千円  
交付対象外: 5,591千円)"]
            D --- G["平成25年度那覇・福州友好都市交流  
シンボルづくり施工監理業務委託  
〔施工監理業務に係る委託料〕"]
            E --- H["平成25年度那覇・福州友好都市交流  
シンボルづくり整備工事(その1)  
〔整備工事に係る工事請負費〕"]
            F --- I["平成26年度那覇・福州友好都市交流  
シンボルづくり整備工事(その2)  
〔整備工事に係る工事請負費〕"]
        
```

	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
資金の流れ、費目、使途の点検評価		支出先の選定方法は妥当か。	○ 委託業者は、設計意図を熟知している設計者と随意契約(地方自治法施工令167条の第2第1項第2号に基づき)及び工事業者は指名競争入札により選定したが、石材架設における人材確保ができず工期内に工事を完了できなかったため契約解除となった。 ○ 一部、事業遂行が困難となり、交付金額は5,100万円になった。 ○ 費目・使途については、事業目的に即し真に必要なものであるかなど、支出関係書類等において確認しており、また、交付決定の一部取消しを踏まえ、交付金充当額の精査を行っており、あわせて契約解除に伴う違約金相殺に基づき、実績報告の修正(交付金減額)を行ったことから、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市						
平成 2 5 年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-56	歴史散歩道関連整備事業(下水道マンホール等設置)			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 3 - (2) - ウ	
担当部課名	上下水道局 下水道課	事業実施(予定)年度	平成25～27年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備	
事業内容	観光都市としての景観・美観の創出・継承のため、快適に観光散策ができるよう景観等に配慮した下水道マンホール蓋等を設置する。						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		25年度	25年度(繰越)	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	41,000	-			
		(b)予算現額	41,000	-			
		(c)増減額(b-a)	0	-			
		(d)繰越額	-	41,000			
		A:計(b+d)	41,000	41,000			
	B:執行済額		0	41,000			
	うち交付金充当額		0	32,800			
	次年度繰越額		41,000	-			
	執行率(%) (B/A)		0.0%	100.0%			
予算の状況の説明		本事業は、歴史散歩道整備事業(道路)と一体的に実施する事業であるが、道路本体のデザインに変更が生じ、マンホール蓋のデザインの決定に不測の日数を要したため、41,000千円を26年度に繰越した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	下水道マンホール蓋等の設置 約165箇所	目 標	(165箇所)	()	()	()	
		実 績	194箇所				
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	歴史散歩道公共下水道工事を6件発注し、デザインマンホール蓋設置等を194箇所施工した。当初予定していた道路整備箇所に変更があり、それに伴い対象マンホール箇所数が増となった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	下水道マンホール蓋等の設置 約165箇所	目 標	()	(165箇所)	()	()	()
		実 績		194箇所			
		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	歴史散歩道公共下水道工事を6件発注し、デザインマンホール蓋設置等を194箇所施工した。当初予定していた道路整備箇所に変更があり、それに伴い対象マンホール箇所数が増となった。道路建設課の歴史散歩道整備事業と合わせて、景観等に配慮したデザインマンホール蓋等を整備することにより、歴史散歩道にふさわしい歩行空間の確保が図られた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化) ・道路建設課の歴史散歩道整備事業と一体的な施工が必要であり、本事業の発注スケジュールが道路事業の影響を受けた。 ・景観等に配慮したデザインマンホール蓋等を設置するため、地域の方々(自治会等)との意見交換等、関係機関との調整に不測の時間を要することがある。	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点) ・経費の削減、円滑な施工による工期の短縮、瑕疵責任の不明瞭化防止等の点から道路工事業者との随意契約を行っているため、道路建設課発注スケジュール等詳細な把握が必要となる。 ・関係機関や地域の方々との意見交換は必要であり、意見交換会の進め方等、創意工夫を行い事業の進捗向上を図る。
	今後の取り組み方針 ・道路建設課の道路整備事業と密な調整を行ない、道路工事の施行内容や施行範囲、道路計画高さ等について把握すると共に、デザインマンホール蓋製作スケジュールも照らし合わせつつ、適切に事業を執行する。 ・景観等に配慮したデザインマンホール蓋等の選定に際し、地域の方々や関係機関との調整を行い、通りにあったデザインを決定する。	

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
41,000	41,000	32,800	8,200	

```

            graph LR
                A[那覇市  
41,000千円] --> B[工事請負費  
41,000千円]
                B --> C[株式会社 奥浜組  
7,803千円]
                B --> D[株式会社 ニシダ工業  
9,855千円]
                B --> E[琉球建設産業 株式会社  
1,827千円]
                B --> F[有限会社 名徳工務店  
6,650千円]
                B --> G[株式会社 沖縄総建  
3,741千円]
                B --> H[株式会社 沖栄建設  
11,124千円]
                C --- C1[平成25年度歴史散歩道公共下水道工事(その1)  
デザインマンホール蓋設置等 37箇所]
                D --- D1[平成25年度歴史散歩道公共下水道工事(その2)  
デザインマンホール蓋設置等 52箇所]
                E --- E1[平成25年度歴史散歩道公共下水道工事(その3)  
デザインマンホール蓋設置等 8箇所]
                F --- F1[平成26年度歴史散歩道公共下水道工事(その1)  
デザインマンホール蓋設置等 28箇所]
                G --- G1[平成26年度歴史散歩道公共下水道工事(その2)  
デザインマンホール蓋設置等 17箇所]
                H --- H1[平成26年度歴史散歩道公共下水道工事(その3)  
デザインマンホール蓋設置等 52箇所]
            
```

	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
資金の流れ、費目、使途の点検評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	○ 道路工事請負業者に施工(随意契約)させることにより、経費の削減、円滑な施工による工期の短縮、瑕疵責任の不明瞭化防止等があることから、妥当であったと考えている。 (地方公営企業法施行令第21条の14第1項第6号) ○ 予算規模については、道路整備箇所の変更から下水道マンホール蓋等の設置個数が増加したが、必要かつ最小限での執行に抑え、適正な規模であった。 ○ 費目・使途については事業目的達成の観点から必要かつ適正であり、支出等に関する手続き及び書類も適切に処理している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市						
平成 2 5 年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-61	亜熱帯庭園都市の公園施設強化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ	
担当部課名	建設管理部 公園管理課	事業実施(予定)年度	平成24～25年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備	
事業内容	観光都市としての景観・美観の創出・継承のため、波の上宮やビーチがある旭ヶ丘公園の施設強化を図り、琉球石灰岩のり面の保護整備及び回遊園路を継続して整備する。						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	24年度(繰越)	25年度	25年度(繰越)	26年度
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	10,000	-	20,538	-	
		(b)予算現額	10,000	-	20,538	-	
		(c)増減額(b-a)	0	-	0	-	
		(d)繰越額	-	5,922	-	17,714	
		A.計(b+d)	10,000	5,922	20,538	17,714	
	B.執行済額		4,078	5,760	2,824	17,714	
	うち交付金充当額		3,262	4,608	2,259	14,171	
	次年度繰越額		5,922	-	17,714	-	
	執行率(%) (B/A)		40.8%	97.3%	13.8%	100.0%	
予算の状況の説明		平成24年度は、工事着手後法面(崖地)の土質が当初設計以上に風化していることが判明し、工法の変更を余儀なくされ平成25年度に設計業務及び工事を行い一部繰越したが完了した。全額執行している。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	旭ヶ丘公園のり面保護:250㎡ 旭ヶ丘回遊園路整備:22m	目 標	(法面整形)	(保護・整備)	()	()	
		実 績	一部法面整形	工事設計、法面整形、間知積、法枠、法面緑化、園路整備、散水栓設置			
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	平成24年度は、工事着手後法面(崖地)の土質が当初設計以上に風化していることが判明し、工法の変更を余儀なくされ平成25年度に設計業務及び工事を行い、一部繰越したが回遊園路の整備を含め完了した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	「落石危険箇所の解消」 (観光地周辺の公園である旭ヶ丘公園のため擁壁・園路工事の実施)	目 標	()	(法面整形)	(工事の実施)	()	()
		実 績		一部法面整形	工事設計、法面整形、間知積、法枠、法面緑化、園路整備、散水栓設置		
		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	平成24年度は、工事着手後法面(崖地)の土質が当初設計以上に風化していることが判明し、工法の変更を余儀なくされ平成25年度に設計業務及び工事を行い一部繰越したが完了した。法面を保護することにより回遊園路整備を行うことができた。また周辺との景観のバランスを取るため法面を緑化し、散水栓を設置することにより長年に渡り緑化を維持できる対策を取った。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	- 旭ヶ丘公園の南東側は琉球石灰岩の法面が公園敷地際までせり出しており、利用者は一度道路に出なければ公園を回遊することができなかった。 - 法面の保護を最前項目としながらも、歴史ある旭ヶ丘公園の景観を損なわぬよう配慮する必要があった。	- 法面の一部に風化による落盤の予兆が見られたため、法面の切土整形を行い、構造物による法面保護を行い、切土によりできたスペースに回遊園路を整備した。 - 法面を緑化し景観に配慮した整備を行い崖地の落石危険箇所を解消したことで、観光客が安全に旭ヶ丘公園内を散策できるようになった。
今後の取り組み方針		
供用開始されてかなりの年月が経過している旭ヶ丘公園の施設について、公園利用者のニーズを取り込みながら景観にも配慮し安全に過ごせるよう整備した。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
那覇市 20,538千円 委託料 2,824千円 (有)ア-バンエンジニアリング 2,824千円 工事費 17,714千円 (株)間土建 17,714千円 総事業費 20,538 交付対象事業費 20,538 交付金充当額 16,430 市町村負担金 4,108 交付対象外経費 平成25年度旭ヶ丘公園法面对策設計業務委託 平成26年度旭ヶ丘公園落石防止工事				
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
	○	支出先の選定方法は妥当か。	- 各業種ごとに競争入札による契約を実施しているので妥当と判断 - 積算基準等による工事費の積算を行っており適正と判断 - 費目・使途について事業目的達成の観点から必要なもののなか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	那覇市						
平成 2 5 年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-	銘苅庁舎インキュベート施設整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 3 - (3) - ア	
担当部課名	経済観光部 商工農水課		事業実施(予定)年度	平成25年度	沖縄振興基本方針該当箇所	情報通信関連産業の立地促進	
						- 1 - (6)	
事業内容	情報通信産業の振興を図るため、銘苅庁舎内にITインキュベート施設を整備し、インキュベート室の供給不足解消や卒業企業の市内立地を促進する。						
実施方法	■ 直接実施 □ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			25年度	25年度(繰越)	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a)当初予算額	21,389	-			
		(b)予算現額	20,000	-			
		(c)増減額(b-a)	▲ 1,389	-			
		(d)繰越額	-	20,000			
	A. 計(b+d)		20,000	20,000			
	B. 執行済額		0	11,813			
	うち交付金充当額		0	9,450			
	次年度繰越額		20,000	-			
	執行率(%) (B/A)		0.0%	59.1%			
予算の状況の説明		施設内に音響機器、デスク、プロジェクト等、環境整備のための備品を入札により購入。不用額は主にブラインド(500万円)、備品類(230万円)の入札残によるものであるが、予定していた環境整備は達成した。 「まちづくり拠点施設整備事業」において、実施設計の工期延長による工事の遅れにより施設完成年度が25年度から26年度にずれ込んだため、備品購入費を明許繰越とした。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	施設内の環境整備 (音響機器、テーブル、プロジェクト購入等)	目 標	(施設内の環境整備)	()	()	()	
		実 績	備品・什器類購入				
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	施設内の環境整備として備品・什器類の入札を行い整備する。 インキュベート室(16室)、会議室(2室)、研修室(1室)、商談スペース、管理事務室へ、ブラインド設置、防犯カメラの設置、プロジェクトやスクリーン、マイク、Wi-Fi機器、及びテーブルや椅子、保管庫、ロッカー等を購入した。 なは産業支援センター開設(H27.4.1)						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	施設内の環境 (音響機器、テーブル、プロジェクト購入等)	目 標	()	(施設内の環境整備)	()	()	()
		実 績		備品・什器類購入			
		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	施設内の環境整備として備品・什器類の購入し、なは産業支援センター開設した。 なは産業支援センターの応募状況については、10室程度の募集に19社の応募があり、平成27年4月から情報通信関連事業者が7社、その他経営コンサルタント事業者及び製造業事業者が入居している。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	平成15年建築の旧銘苅庁舎を公共施設の再編整備、既存施設の活用の観点から、市の重要施策である「市民との協働活動の拠点施設」及び情報通信関連産業の創出のための「ITインキュベート施設」の複合施設として改修することとし、平成27年4月より「なは市民協働プラザ」として開設した。 当初設計では再利用を想定していた天井地下、床仕上材が実際は使用困難な状態だったため、設計変更に至り、整備計画が平成25年度完成予定から平成26年度完成と遅れが生じた。	既存施設の改修工事であったことから、建物の想定以上の老朽化などで当初の見込みより延長しての工事完成となった。既存施設の場合は、当初段階においても今後の計画に変更が生じる可能性について慎重に検討する必要がある。 工事の遅れに伴い環境整備についても遅れることとなったが、什器・備品類の環境整備は達成した。 今後は、インキュベート室を満室にするよう周知、広報を積極的に行い、併せて沖縄産業支援センターや商工会議所等の県内支援機関との情報交換や連携を図り、入居する事業者、那覇市IT創造館卒業事業者及び市内の創業期の事業者に対して支援業務の充実を図っていく。
今後の取り組み方針		
(仮)銘苅インキュベート施設(完成後名称:なは産業支援センター)は、情報通信産業等の振興発展、産業集積及び市場開拓資すること、並びに入居する団体や企業との連携による地域活性化に資する施設として活用していきたい。 インキュベート施設として、16室を賃貸し、賃料を低廉に設定することで、入居する事業者を支援するとともに、那覇市IT創造館卒業事業者及び市内の創業期の事業者に対し、経営課題に対する相談業務や教育研修業務等を支援業務の充実を図っていく。		

資金の流れ				
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
11,813	11,813	9,450	2,363	

那覇市
11,813千円

備品購入費
11,813千円

(有)エスティ通信
2,212千円

マルシゲ商会
2,895千円

(有)システム・エヌ
924千円

(有)明信商事
1,197千円

(株)マルゼン
4,087千円

(株)沖縄セルラー電話
498千円

防犯カメラ一式

ブラインド一式

音響設備類一式

什器・事務用品類

什器・事務用品類

Wi-Fi機器一式

資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○ 業社選定は、入札による決定及び地方自治法施行令167条の2第1項第1号、那覇市契約規則第20条(50万円以内の財産の買入れ)に基づく随意契約であり妥当である。 ○ 予算規模について、入札により不用額が8,187千円生じる結果となった。 ○ 費目・使途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市						
平成 2 5 年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-	ガントリークレーン整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(4)-ア	
担当部課名	都市計画部 都市計画課		事業実施(予定)年度	平成24～26年度	沖縄振興基本方針該当箇所	臨空・臨港型産業の集積による国際物流拠点の形成 - 1 - (3)	
事業内容	産業振興の基盤である那覇港の機能強化と臨港型産業の育成に繋げるため、コンテナの取扱能力を増大し、サービス水準の大幅な向上となるガントリークレーンの増設を実施する。また、クレーンの構造強化等を行う						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	24年度(繰越)	25年度	25年度(繰越)	26年度
	予算の状況	(a)当初予算額	120,000	-	330,000	-	
		(b)予算現額	134,760	-	368,250	-	
		(c)増減額(b-a)	14,760	-	38,250	-	
		(d)繰越額	-	89,108	-	128,845	
		A.計(b+d)	134,760	89,108	368,250	128,845	
	B.執行済額		45,652	89,108	239,405	128,845	
	うち交付金充当額		36,521	71,287	191,524	103,076	
	次年度繰越額		89,108	-	128,845	-	
	執行率(%) (B/A)		33.9%	100.0%	65.0%	100.0%	
予算の状況の説明		ガントリークレーン3号機の当初設計高さについて、大阪航空局との協議の結果、航空法に基づく制限高さ以下に抑えるよう指示があった。 このため当初設計の高さより、5.4m低く抑える設計を余儀なくされたため、ガントリークレーン3号機の構造に大幅な設計変更が生じた。 その結果、ガントリークレーン3号機の機械構造の強化のための材料費と労務費の増額、および重量が増大したことによる輸送費と設置費の増額等により、補助金額20,000,000円の増額となった。 また、港湾機能強化を図るため、4号機を増設する。平成25年度補助金額42,750,000円 よって、3号機分、4号機分含めての増額は、62,750,000円となる。 当初、ガントリークレーン4号機については、3号機同様の仕様で発注及び入札を進めていたが、那覇空港滑走路増設に伴い、航空法に基づく制限表面高変更の予告告示が出たため、抑えていた高さを緩和することに伴い、工事費を低く抑えられる可能性が生じたことから、工事設計額見直しの検討及び再入札に時間を要したため繰越となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	那覇港のガントリークレーン3号機製作1基、4号機製作工事着手	目標	仕様書作成、3号機製作工事着手	3号機製作1基、4号機製作工事着手			
		実績	仕様書作成、3号機製作工事完了	3号機製作1基、4号機製作工事着手			
達成状況説明	活動目標通り平成26年6月に3号機製作及び据付工事を完了した。また、平成26年2月に4号機製作工事に着手することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	コンテナ取扱能力増大等に向けた港湾機能強化 ガントリークレーン3号機製作完了、4号機製作工事着手	目標	(-)	仕様書作成、3号機製作工事着手	3号機製作完了、4号機製作工事着手		
		実績		仕様書作成、3号機製作工事完了	3号機製作完了、4号機製作工事着手		
	【参考指標】 沖縄21世紀ビジョン実施計画P154 那覇港の取扱貨物量	目標	1,004万トン(23年)	1,950万トン(28年)	2,840万トン(33年)		
	進捗状況説明	・成果目標通り、3号機製作工事の完了及び4号機製作工事を着手することができた。 ・ガントリークレーン整備は順調に目標を達成してきており、施策の推進(沖縄21世紀ビジョン実施計画P154那覇港の取扱貨物量)において、貨物増加量に係る整備を実施しており、目標達成に寄与するものである。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	- 平成25年度はガントリークレーン3号機の製作(1基)及び4号機の製作工事を着手した。 - ガントリークレーン整備については、航空法に基づく制限表面高変更による工事設計額見直しの検討や再入札により、当初予定していた工期より長くなった。	- 予算執行前段階から関係機関との情報共有、密な調整及び週に1回程度の工程会議等を行う必要がある。 - 作業状況及び現場状況の把握に努め、円滑な事業進捗を図る必要がある。
今後の取り組み方針		
産業振興の基盤である那覇港の機能強化と臨港型産業の育成に繋げるために、コンテナの取扱能力を増大しサービス水準の大幅な向上となるガントリークレーン3号機、4号機の整備を平成27年3月までに行う。そのために関係機関との情報共有及び密な調整を行い、また作業状況及び現場状況等を把握し、ガントリークレーンの早期供用開始に向けた事業推進を図る。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金
	368,250	368,250	294,600	73,650
				交付対象外経費
那覇市 那覇市交付対象 36事業費円 368,250千円 補助金 368,250千円 那覇港管理組合 368,250千円 委託料 4,859千円 工事費 363,391千円 一般社団法人 港湾荷役機械システム協会 1,860千円 一般社団法人 港湾荷役機械システム協会 2,100千円 (株)中建設計コンサルタント 899千円 三井造船(株) 160,507千円 三井造船(株) 57,672千円 三井造船(株) 143,670千円 (株)野原建設 1,542千円 〔ガントリークレーン輸送据付工事監理業務委託〕 〔ガントリークレーン製作工事監理業務委託〕 〔沖縄振興特別推進事業現場技術業務委託〕 〔ガントリークレーン製作工事〕 〔ガントリークレーン輸送据付工事〕 〔ガントリークレーン製作工事〕 〔ガントリークレーンレール設置工事〕				
資金の流 点、費 目、使 途の 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
	○	支出先の選定方法は妥当か。	一般競争入札の最低価格業者と契約を結んでいることから、支出先の選定方法は妥当であると考え。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	設計時において複数の工法から最も経済的な工法を選択していることから、予算規模は事業内容に見合っていると考える。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	費目、使途については、関連書類を確認し、適正であった。	

市町村名	那覇市						
平成 2 5 年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-	那覇港総合物流センター整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(4)-ア	
担当部課名	都市計画部 都市計画課	事業実施(予定)年度	平成25～29年度		沖縄振興基本方針該当箇所	臨空・臨港型産業の集積による国際物流拠点の形成 - 1 - (3)	
事業内容	本県の生活・産業物資の輸送の大部分を担う港湾物流機能を改善し、県全体の物流の高度化を図り、さらに付加価値型ものづくり産業の集積などの国際物流拠点の形成を図るため那覇港総合物流センターを整備する。						
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			25年度	25年度(繰越)	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a)当初予算額	15,000	-			
		(b)予算現額	15,000	-			
		(c)増減額(b-a)	0	-			
		(d)繰越額	0	11,655			
		A.計(b+d)	15,000	11,655			
	B.執行済額		3,345	11,655			
	うち交付金充当額		2,676	9,324			
	次年度繰越額		11,655	-			
	執行率(%) (B/A)		22.3%	100.0%			
予算の状況の説明		平成25年度は、総合物流センターの規模や仕様、必要な整備条件を確定するために、類似施設の調査、適用法令の整理、地盤調査及び概算工事費の算定等を行っていたが、建物の仕様決定に必要な企業ヒアリングを行う対象企業決定が遅れ、平成26年度にはアンケート結果の集計及び分析を行うため繰越となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	総合物流センター基本設計の実施	目 標	基本設計の実施	()	()	()	
		実 績	基本設計の実施				
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	・本事業は、那覇港国際コンテナターミナル背後地に国内外物流の効率化及び流通加工等の新たな価値を付加する機能を持った「総合物流センター」を整備するものであり、規模は地上3階建て、延べ面積約45,000㎡程度を想定しており、構造はプレキャストPC造等を計画している。 ・活動目標通り総合物流センター基本設計業務を実施した。 ・企業調査及びヒアリングにおいて、施設の規模(スパン、天井高さ等)、利用形態(仕分け作業の有無、包装・加工の有無等)冷凍・冷蔵倉庫の必要性、事務室の必要性等、施設を利用する際の基本仕様を明確にする。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	総合物流センターの基本設計業務の完了	目 標	-	基本設計業務の完了		()	()
		実 績	-	基本設計業務の完了			
	【参考指標】 沖縄21世紀ビジョン実施計P154 那覇港の取扱貨物量	目 標	1,004万トン(23年)	1,950万トン(28年)	2,840万トン(33年)	()	()
	進捗状況説明	・成果目標通り総合物流センター基本設計業務を実施した。 ・企業調査等で明確になった条件を基に基本設計を完了し、平成26年度には施設の工事発注に向けた実施設計を行う。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・当該事業は、那覇港国際コンテナターミナル背後地に従来型物流の高度化及び流通加工等の新たな価値を付加する機能を持った「総合物流センター」を整備するものである。 ・平成25年度は基本設計を実施し、必要な規模、仕様等を決定するため、類似施設の調査、入居希望業者へのアンケート及びヒアリングを実施した。アンケート等の結果、各企業が必要とする設備にある程度ばらつきがあった。	各企業の要望に基づき、一部の企業で必要とされる設備について本事業内で発注側、企業側が実施すべき設備工事等を明確化にし、発注コストの低減を図る必要がある。
今後の取り組み方針		
基本設計で明確になった条件に基づき実施設計の発注を行い、施設の早期供用開始に向けた事業推進を図る。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>15,000</td><td>15,000</td><td>12,000</td><td>3,000</td><td></td></tr> </table> 那覇市 交付対象事業費 15,000千円 補助金 15,000千円 那覇港管理組合 15,000千円 委託料 15,000千円 (株)ワールド設計・八千代エンジニアリング・(株)沖縄事務所 同企業体 11,470千円 株式会社帝国データバンク 沖縄支社 343千円 新日本有限責任監査法人 3,187千円 総合物流センター基本設計業務委託 総合物流センター企業事業分析調査業務 総合物流センター参入企業調査及び公募条件検討業務					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	15,000	15,000	12,000	3,000	
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
15,000	15,000	12,000	3,000											
資金の流 点検・費 目・使 途	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・一般競争入札の最低価格業者と契約を結んでいることから、支出先の選定方法は妥当であると考える。 ・設計時において複数の工法から最も経済的な工法を選択していることから、予算規模は事業内容に見合っていると考える。 ・費目、使途については、関連書類を確認し、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	那覇市						
平成 2 5 年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-25	小学校施設老朽化抑制事業(塩害防止・長寿命化)			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ウ	
担当部課名	生涯学習部 施設課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	時代に対応する魅力ある学校づくりの推進		
					- 3 - (1)		
事業内容	塩害による学校校舎等の劣化問題に対応するため、小学校校舎外壁面の塩害防止・長寿命化のための塗装工事を行う。						
実施方法	■ 直接実施 ■ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	24年度(繰越)	25年度	25年度(繰越)	26年度
	予算の状況	(a)当初予算額	0	-	153,610	-	
		(b)予算現額	100,675	-	150,115	-	
		(c)増減額(b-a)	100,675	-	▲ 3,495	-	
		(d)繰越額	-	98,895	-	36,013	
		A. 計(b+d)	100,675	98,895	150,115	36,013	
	B. 執行済額		1,780	69,656	88,724	36,013	
	うち交付金充当額		1,424	55,724	70,727	28,810	
	次年度繰越額		98,895	-	36,013	-	
	執行率(%) (B/A)		1.8%	70.4%	59.1%	100.0%	
予算の状況の説明		・平成25年度内に設計を完了し、工事を着工したが、足場設置後の打診調査で、設計時の目視調査では確認できなかったコンクリート等の劣化が多数あり、下地補修に想定外の時間を要したため、平成25年度内の完了が困難であると判断し、平成26年度に工事請負費36,013千円を繰越した。平成26年度内で事業は完了した。 ・予算残25,378千円については、ほとんどが入札残と事務費の不用額である。 ・臨時職員の採用がなかったため、賃金・共済費3,495千円を補正減した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	小学校校舎等外壁整備:3校 (垣花小学校, 大道小学校, 金城小学校)	目 標	(1校)	(3校)	()	()	
		実 績	1校	3校			
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	・平成25年度内に垣花小学校と大道小学校と金城小学校の3校の設計を完了し、外壁の塩害防止・長寿命化のための塗装工事を着工したが、平成25年度内の完了が困難であると判断したため、平成26年度に繰越した。平成26年度内で事業は完了した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	小学校校舎等外壁整備:3校 (垣花小学校, 大道小学校, 金城小学校)	目 標	(-)	(1校)	(3校)	()	()
		実 績		1校	3校		
		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	・平成25年度内に垣花小学校と大道小学校と金城小学校の3校の設計を完了し、工事を着工したが、平成25年度内の完了が困難であると判断したため、平成26年度に繰越した。平成26年度内で事業は完了した。 ・外壁塗装に使用する材料を吟味し、耐候性のある塗料を使用して、外壁に塗膜を作ることにより、雨水や塩分の侵入を低減し、コンクリートや鉄筋の寿命を延命し、美観上も向上した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・足場設置後の打診調査により、設計時の目視調査では確認できなかったコンクリート等の劣化が判明し、下地補修に想定外の時間を要することがある。 ・校舎の外壁塗装のため、工事中は窓を閉め切る必要があり、教室内の換気に支障をきたすことがある。	・事前調査の段階で、可能な限りの打診調査を行ったり、調査機器を使用し調査の精度をあげることで、作業をスムーズに進めることが必要である。 ・換気のため、請負業者と綿密に調整を行い、窓を開放できるようにする。 ・設計時の目視調査では確認できなかったコンクリート等の劣化が判明し、下地補修に想定外の時間を要することがあるもあるため、それを踏まえた工期の確保が必要である。
今後の取り組み方針		
・今後も学校施設の劣化は進行するため、施設の長寿命化のためにも定期的な点検・調査を行い、適切な時期に全面再塗装を行う。これにより、外壁に塗膜を作ること、雨水や塩分の侵入を低減し、コンクリートや鉄筋の寿命を延命に繋がる。		

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位:千円)

総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
124,737	124,422	99,537	24,885	315

```

            graph LR
                A[那覇市  
124,422千円] --> B[委託料  
1,329千円]
                A --> C[工事請負  
123,339千円]
                A --> D[使用料  
69千円]
                B --> E[仲村設計工房  
1,329千円]
                C --> F[ムトウ建設・トクダ美装  
プラン共同企業体]
                C --> G[恒和ペイント㈱  
33,831千円]
                C --> H[㈱郷建設  
32,159千円]
                
```

学校施設(垣花小・大道小・金城小・金城中)塗装工事業務委託(設計)
交付対象外経費(違約金)
315千円

学校施設(垣花小)塗装工事

学校施設(大道小)塗装工事

学校施設(金城小)塗装工事

タクシー使用料

資金の流れ、費目・使途の点検評価

評価	点検項目	評価に関する説明
○	支出先の選定方法は妥当か。	○ 委託は指名競争入札、工事の業者選定は一般競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。 ○ 予算規模については、設計・工事とも請負率90%のため入札残はあるが、適正な規模であったと考えている。 ○ 費目・使途については事業目的達成の観点から必要なもののなか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市						
平成 2 5 年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-	新文化芸術発信拠点施設整備事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章 - 1 - (4) - ウ	
担当部課名	市民文化部 文化振興課	事業実施 (予定)年度	平成24～30年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	文化活動を支える基盤の形成		
事業内容	沖縄振興に資する文化発信拠点を整備するため、本市の新しい文化芸術発信拠点施設建設に向けた基本計画の策定を行う。						
実施方法	■ 直接実施 ■ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			24年度	25年度	25年度(繰越)	26年度	27年度
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	8,274	13,391	-		
		(b)予算現額	8,289	27,151	-		
		(c)増減額(b-a)	15	13,760	-		
		(d)繰越額		-	23,760		
		A. 計(b+d)	8,289	27,151	23,760		
	B. 執行済額		7,907	2,966	23,760		
	うち交付金充当額		6,326	2,373	19,008		
	次年度繰越額		-	23,760	-		
	執行率(%) (B/A)		95.4%	10.9%	100.0%		
予算の状況の説明		・新文化芸術発信拠点施設の建設予定地が久茂地小学校跡地に決定し施設整備による周辺環境への影響を調査する必要が生じたことから委託業務を実施する費用を増額した。 ・周辺環境整備基礎調査については、久茂地小学校の廃校以降の環境変化を検証する必要が生じたことから予算を繰り越した。基本計画策定の委託業務についても、基礎調査業務との整合を図る必要があるため予算を繰り越した。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	新しい文化芸術発信拠点施設建設に向けた基本計画の策定	目 標	(基本構想策定)	(基本計画策定)	()	()	
		実 績	基本構想策定	基礎調査実施 基本計画策定			
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	・周辺環境整備基礎調査により、建設予定地周辺の交通実態の把握及び施設の開館による周辺環境への影響や課題が整理された。 ・基本計画の策定により、具体的な施設規模や機能及び概算費用等が整理された。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値 (年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (年度)
	新しい文化芸術発信拠点施設建設に向けた基本計画の策定	目 標	()	(基本構想策定)	(基本計画策定)	()	()
		実 績		基本構想策定	基本計画策定 周辺環境予測		
		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	・周辺環境整備基礎調査を実施したことにより、周辺の交通実態が把握でき、新文化芸術発信拠点施設の開館による周辺環境への影響と課題が予測された。 ・基本計画の策定により、施設機能や概算費用が整理された。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・基礎調査結果によると、新文化芸術発信拠点施設の利用者が一斉に退館した場合等限られた状況において、一部道路に混雑が想定されるため、周辺交通状況に配慮しながら進める必要がある。 ・基本計画において、敷地拡大について検討することとされているため、関係権利者の意向把握が必要となる。	・アンケートやワークショップの実施により、広く市民の意見を取り込んでいく必要がある。 ・敷地の関係権利者に、しっかり説明していくことで理解と協力を得ながら進める。
今後の取り組み方針		
今後は、文化芸術を通した沖縄の振興と育成に大きく寄与する施設にするため、施設の具体的な設計を検討するうえで必要な敷地の拡大に向けた関係権利者への説明や意向把握を進めるとともに、基礎調査において確認された課題に対応するため周辺環境整備計画の策定に取り組む。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
		総事業費	交付対象事業費	交付金充当額
		26,726	26,726	21,381
				市町村負担金
				5,345
				交付対象外経費
				0
那覇市 26,726千円 委託料 23,760千円 共済・賃金 2,966千円 (株)根路銘設計 (有)空間創造研究所 共同事業体 9,860千円 (株)ケー・シー・エス沖縄支社 13,900千円 臨時職員賃金等 2,966千円 平成25年度那覇市新文化芸術発信拠点施設基本計画等策定業務 那覇市新文化芸術発信拠点施設周辺環境整備基礎調査業務 基本計画策定業務補助に係る臨時職員採用				
資金の流 点検・ 評価	評価	点 検 項 目		評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。		○ 委託業者の選定は、公募型のプロポーザル方式で実施しており妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		○ 予算規模については、概ね満額執行しており、適正であったと考えている。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。		○ 費目・使途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については、額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	那覇市						
平成 2 5 年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-	崎山樋川修復事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 1 - (5) - ア	
担当部課名	市民文化部 文化財課	事業実施(予定)年度	平成24～25年度		沖縄振興基本方針該当箇所	文化資源を活用したまちづくり - 3 - (2)	
事業内容	沖縄振興に資する伝統文化を継承するため、市指定文化財(史跡)「崎山樋川」の整備を行い、観光資源としての活用を図る。						
実施方法	■ 直接実施 □ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	25年度(繰越)	26年度	27年度
	予算の状況	(a)当初予算額	2,373	13,818	-		
		(b)予算現額	2,373	13,818	-		
		(c)増減額(b-a)	0	0	-		
		(d)繰越額	-	-	13,818		
		A. 計(b+d)	2,373	13,818	13,818		
	B. 執行済額		2,299	0	13,748		
	うち交付金充当額		1,839	0	10,998		
	次年度繰越額		-	13,818	-		
	執行率(%) (B/A)		96.9%	0.0%	99.5%		
予算の状況の説明		・平成24年度で設計を完了し、平成25年度で工事発注のため、指名競争入札を実施したが入札不調に終わったため、仕様書を見直し、適正な工期を確保するため次年度に予算を繰り越すことになった。平成26年度で事業を完了した。 ・不用額69千円が生じているが、工事請負費の執行残。当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、経過目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	崎山樋川修復工事の実施	目 標	(設計業務)	(修復工事)	()	()	
		実 績	設計業務完了	修復工事完了			
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	周辺の大木が石積を崩し、崩壊の恐れがあった市指定文化財「崎山樋川」の修復工事を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	崎山樋川の修復工事の実施	目 標	()	(設計業務)	(修復工事)	()	()
		実 績		設計業務完了	修復工事完了		
		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	平成27年3月に修復工事終了し、地域の文化財への理解を深めるとともに、歴史散歩の道「ヒジ川ピラマ－い」の、スージグワ観光のポイントとして、活用することが可能になった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	指定文化財の修復工事であるため、文化財工事の実績のある業者の選定に時間を要した。 文化財を修復し、地域の文化財への理解を深めるとともに、観光資源として、保存活用を図るため、市指定文化財「崎山樋川」の修復工事を実施した。	・「崎山樋川」は歴史散歩の道「ヒジ川ピラマ－い」の主要な見どころにもなっている。文化財を修復し、地域の財産として良好な状態で保存継承するとともに、地域における年中行事や祭事、信仰の対象となる御嶽や井泉など他県と異なる本市の独特な文化を紹介することにより、歴史的遺産を活用した観光の促進を図る。
今後の取り組み方針		
・本市は、琉球王府のもとに築かれた王朝文化や、庶民の営みから生まれた生活感のあふれる習俗など、豊かな文化を受け継いできた。沖縄戦により、有形無形の多くの文化財が失われたが、残された文化財を保存活用し、歴史学習の機会を充実させ、地域の文化財への理解を深めることで文化振興を図る。また、従来の観光資源だけでなく、地域における年中行事やスージグワ観光など新たな地域観光を対象とした観光振興を積極的に推進していく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>13,748</td><td>13,748</td><td>10,998</td><td>2,750</td><td>0</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	13,748	13,748	10,998	2,750	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
13,748	13,748	10,998	2,750	0										
那覇市 13,748千円 ↓ (審議・報告) 那覇市文化財調査審議会 → 工事請負費 13,748千円 → (有)沖縄建装工業 13,748千円 〔崎山樋川修復工事〕														
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○ 工事業者の選定において、指名競争入札を行ったが、不調におわたったため、地方自治法施行令第167条の2第1項第8号の規定に基づき随意契約を行った。業者は実績のある業者を選定しており妥当と考える。 ○ 予算規模については、事業目的達成の観点から必要かつ適正であった。 ○ 費目・使途については、事業目的達成の観点からその必要性について確認した。額の確定については、支出等に関する書類により確認。適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	那覇市						
平成 2 5 年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	13-	津波避難ビル建設事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 2 - (4) - イ	
担当部課名	総務部 総務課		事業実施(予定)年度	平成24～26年度	沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制の強化 - 10 - (2)	
事業内容	地震や津波などの自然災害に強いまちづくりを推進するため、海拔の低い若松市営住宅跡地(那覇市松山2丁目22-1)に避難困難者のための津波避難ビルを建設する。						
実施方法	■ 直接実施 ■ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		24年度	24年度(繰越)	25年度	25年度(繰越)	26年度
		(a)当初予算額	24,327	-	59,752	-	
		(b)予算現額	24,327	-	65,172	-	
		(c)増減額(b-a)	0	-	5,420	-	
		(d)繰越額	-	24,327	-	45,732	
	A. 計(b+d)		24,327	24,327	65,172	45,732	
	B. 執行済額		0	24,327	19,440	45,647	
	うち交付金充当額		0	19,461	15,552	36,517	
	次年度繰越額		24,327	-	45,732	-	
	執行率(%) (B/A)		0.0%	100.0%	29.8%	99.8%	
予算の状況の説明		地域住民から当該ビルへ安全・安心に避難することができるようにして欲しいという要望事項に対応するため、実施設計業務に不測の日数を要したことから委託料等にかかる45,731千円を26年度に繰越した。不用額85千円の主なものについては、事務費(タクシー使用料)の執行残である。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	津波避難ビル建設に係る実施設計実施	目標		(実施設計実施)	()	()	
		実績		実施設計実施			
	(参考 H24活動目標) 津波避難ビル建設に係る基本計画・基本設計の実施	目標	(基本計画・基本設計の実施)		()	()	
		実績	基本計画・基本設計の実施				
達成状況説明	那覇市西部地域の海岸沿いを中心とした海拔5m以下の低海拔地域において、大津波襲来時に避難困難者のための安全・安心の確保を目的に、地上4階建の津波避難ビルを那覇市松山地域に建設するための実施設計を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	津波避難ビル建設に係る実施設計実施	目標	()	()	(実施設計実施)	()	()
		実績			実施設計実施		
	(参考 H24成果目標) 津波避難ビル建設に係る基本計画・基本設計の実施	目標	()	(基本計画・基本設計の実施)	()	()	()
		実績		基本計画・基本設計の実施			
	進捗状況説明	大津波襲来時に避難困難者のための安全・安心の確保を目的に、地上4階建の津波避難ビルを那覇市松山地域に建設するための津波避難ビルの実施設計を終了した。平成26年8月から建設工事に着手している。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	当該ビルは、多くの地域住民等に利用してもらい、そこでの交流を通して地域コミュニティを強化し、災害時に備えることを想定しているため、地域住民等の要望などを踏まえて利用しやすい施設とするとともに、当該ビルについて周知を図る必要がある。	日頃から地域の自治会や地域住民等多くの方に利用していただくことにより、災害時に直ぐに避難し身の安全が確保できるよう認知度を高める必要がある。また、子ども、若者、高齢者と言った世代を超えた人々が集い交流を通して、災害時に支え合う共助の心を育む施設として活用を図りたい。
今後の取り組み方針		
実施設計に基づき、早期に津波避難ビル建設工事に着手し完成させる。当該ビルは、大津波襲来時には約2,000名が避難可能となり、また、台風襲来時には小災害時の避難所として指定するなどして、地域の防災拠点施設として活用していく。また、平常時には地域の世代を超えた人々が集い交流を通して、災害時には互いに支え助け合う共助の心を育む施設として活用する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>65,087</td><td>65,087</td><td>52,069</td><td>13,018</td><td>0</td></tr> </tbody> </table> 那覇市 65,087千円 委託料 65,082千円 使用料 5千円 タクシー使用料 有限会社 三和総合設計 65,082千円 那覇市津波避難ビル建設工事業務委託(実施設計)					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	65,087	65,087	52,069	13,018	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
65,087	65,087	52,069	13,018	0										
資金の流点、評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○ 委託業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○ 予算規模については不用額は85千円であり、適正な規模であったと考えている。											
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○ 費目・使途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名		那覇市						
平成 2 5 年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名		13- 小学校防災避難施設整備事業(校舎屋上)		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-2-(4)-イ		
担当部課名		生涯学習部 施設課		事業実施(予定)年度		平成24～26年度		
				沖縄振興基本方針該当箇所		災害に強い県土づくりと防災体制の強化		
						- 10 - (2)		
事業内容		・地震や津波などの自然災害に強いまちづくりを推進するため、低地帯の小学校校舎の屋上に手摺を設置して、緊急避難施設となるように整備する。						
実施方法		☒ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)				24年度	24年度(繰越)	25年度	25年度(繰越)	26年度
		予算の状況	(a)当初予算額	0	-	33,610	-	
			(b)予算現額	30,115	-	30,115	-	
			(c)増減額(b-a)	30,115	-	▲ 3,495	-	
			(d)繰越額	-	30,115	-	28,946	
			A.計(b+d)	30,115	30,115	30,115	28,946	
		B.執行済額		0	27,302	1,169	25,617	
		うち交付金充当額		0	21,841	935	20,494	
		次年度繰越額		30,115	-	28,946	-	
		執行率(%) (B/A)		0.0%	90.7%	3.9%	88.5%	
予算の状況の説明		・平成25年度内で設計が完了し、工事発注を行ったが、2度に渡って入札不調となったため、28,946千円を平成26年度に予算を繰越すこととなった。平成26年度内で事業は完了した。 ・予算残3,329千円については、ほとんどが入札残と事務費の不用額である。 ・臨時職員の採用がなかったため、賃金・共済費3,459千円を補正減した。						
活動目標(指標)及び達成状況		H25活動目標(指標)		達成状況				
				24年度	25年度	26年度	27年度	
		小学校校舎屋上手摺設置工事:2校 (開南小学校, 壺屋小学校)	目標	(2校)	(2校)	()	()	
			実績	2校	2校			
			目標	()	()	()	()	
実績								
達成状況説明		・平成25年度内で開南小学校と壺屋小学校の2校の設計が完了し、工事発注を行ったが、2度に渡って入札不調となった。さらに再発注を行ったとしても、年度内に十分な工期を確保することが困難であるため、平成26年度に工事の発注を繰越し、平成26年度内で工事を完了した。 ・緊急時の避難施設となるように、小学校校舎の屋上に手摺を設置する工事が完了。						
成果目標(指標)及び進捗状況		H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(26年度)
		小学校校舎屋上手摺設置工事:2校 (開南小学校, 壺屋小学校)	目標	(-)	(2校)	(2校)	()	(2校)
			実績		2校	2校		
			目標	()	()	()	()	()
			実績					
進捗状況説明		・平成25年度内で開南小学校と壺屋小学校の2校の設計が完了し、平成26年度内で工事を完了した。 ・低地帯である小学校校舎の屋上に手摺を設置したことで、緊急時の避難施設の整備が完了した。						

市町村名	那覇市						
平成 2 5 年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	13-	中学校防災避難施設整備事業(校舎屋上)			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ	
担当部課名	生涯学習部 施設課	事業実施(予定)年度	平成24～26年度		沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制の強化 - 1 0 - (2)	
事業内容	・地震や津波などの自然災害に強いまちづくりを推進するため、低地帯の中学校校舎の屋上に手摺を設置して、緊急避難施設となるように整備する。						
実施方法	■ 直接実施 ■ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	24年度(繰越)	25年度	25年度(繰越)	26年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	0	-	15,000	-	
		(b)予算現額	15,000	-	15,000	-	
		(c)増減額(b-a)	15,000	-	0	-	
		(d)繰越額	-	15,000	-	14,540	
	A. 計(b+d)		15,000	15,000	15,000	14,540	
	B. 執行済額		0	13,574	460	10,331	
	うち交付金充当額		0	10,859	368	8,264	
	次年度繰越額		15,000	-	14,540	-	
	執行率(%) (B/A)		0.0%	90.5%	3.1%	71.1%	
予算の状況の説明		・平成25年度内で設計が完了し、工事発注を行ったが、2度に渡って入札不調となったため、14,540千円を平成26年度に繰越すこととなった。平成26年度内で事業は完了した。 ・不用額4,209千円については、委託及び工事費の入札残によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	中学校校舎屋上手摺設置工事:1校 (仲井真中学校)	目 標	(1校)	(1校)	()	()	
		実 績	1校	1校			
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	・平成25年度内で仲井真中学校の設計が完了し、工事発注を行ったが、2度に渡って入札不調となった。さらに再発注を行ったとしても、年度内に十分な工期を確保することが困難であるため、平成26年度に工事の発注を繰越し、平成26年度内で工事を完了した。 ・緊急時の避難施設となるように、中学校校舎の屋上手摺を設置する工事が完了。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(26年度)
	中学校校舎屋上手摺設置工事:1校 (仲井真中学校)	目 標	(-)	(1校)	(1校)	()	(1校)
		実 績		1校	1校		
		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	・平成25年度内で仲井真中学校の設計が完了し、平成26年度内で工事を完了した。 ・低地帯である中学校校舎の屋上手摺を設置したことで、緊急時の避難施設の整備が完了した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・生徒の安全及び学習環境の確保の観点から、工種によっては騒音、振動等による影響を避ける必要があることから、学校関係者との工事時期の調整が必要となる。	・生徒の安全確保、学習環境の観点から、騒音、振動の影響が出る工種については、週末などの学校休日や長期の休みに合わせての施工を行うなど、事業実施に際しては学校関係者とこれまで以上に緊密に意思疎通を図るとともに、不測の事態が発生しても契約期間の延長がないよう余裕を持った工期設定を行いたい。
今後の取り組み方針		
・今後も低地帯に該当する学校校舎の屋上に手摺を設置して緊急避難施設となるよう整備していくが、生徒の安全及び学習環境の確保の観点から、工事時期を週末等の学校休日や長期の休みに合わせて施工を行えるよう検討していく。 ・整備が完了した緊急避難施設については、避難訓練等にも活用出来るよう取り組んでいく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金 充当額</th><th>市町村 負担金</th><th>交付対象 外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10,791</td><td>10,791</td><td>8,632</td><td>2,159</td><td></td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費	10,791	10,791	8,632	2,159	
総事業費	交付対象事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費										
10,791	10,791	8,632	2,159											
那覇市 10,791千円 → 委託料 625千円 → タクト設計 460千円 (防災避難施設整備工事(校舎屋上) 業務委託(設計・監理・その2)) → タクト設計 165千円 (防災避難施設整備工事(校舎屋上) 業務委託(監理・その2)) → 工事請負 10,166千円 → 株式会社 D.C.R (防災避難施設整備工事 (校舎屋上・その2))														
資金の 使途の 流れ、 検証 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○ 委託は指名競争入札、工事の業者選定は一般競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○ 予算規模については、設計が84%、工事が90%の請負率のため入札残はあるが、適正な規模であったと考えている。											
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○ 費目・使途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	那覇市							
平成 2 5 年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	13-	リアルタイム水運用システム整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ			
担当部課名	上下水道局 水道工務課	事業実施(予定)年度	平成25年度	沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制の強化			
					- 10 - (2)			
事業内容	日常生活や社会活動に大きな影響を与える災害時等の断水被害を軽減するため、漏水等の被害箇所を迅速に把握する中ブロック通信装置を設置する。							
実施方法	■ 直接実施 ■ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			25年度	25年度(繰越)	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	102,500	-				
		(b)予算現額	88,853	-				
		(c)増減額(b-a)	▲ 13,647	-				
		(d)繰越額	-	88,853				
		A.計(b+d)	88,853	88,853				
	B.執行済額		0	88,853				
	うち交付金充当額		0	71,080				
	次年度繰越額		88,853	-				
	執行率(%) (B/A)		0.0%	100.0%				
予算の状況の説明		当初予算額における工事費について、補助対象経費の見直しを行なったことから、予算現額が13,647千円減額となった。また、データ送信に必要な電力の引込について、沖縄電力との調整等に不測の日数を要したため88,853千円を平成26年度に繰越した。						
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況					
				25年度	26年度	27年度	28年度	
	配水系統中ブロック化に伴う通信施設設置: 48箇所(那覇市内一円)	目 標	(48箇所)	()	()	()	()	
		実 績	48箇所					
		目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
達成状況説明	配水系統中ブロック化に伴う通信施設設置: 48箇所(那覇市内一円)を活動目標どおり設置し、完了した。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)	
	配水系統中ブロック化に伴う通信施設設置: 48箇所(那覇市内一円)	目 標	()	(48箇所)	()	()	()	
		実 績		48箇所				
		目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進捗状況説明	那覇市内の配水系統中ブロック(48箇所)に通信施設を設置し、上下水道局中央監視室にデータを収集することにより、リアルタイムで水運用が可能となった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	那覇市内の配水系統中ブロック毎に通信施設を設置するため既設支柱を利用することとしたが、データ送信のために電気を供給する必要があることから、電力の引込みについて沖縄電力と現場調整したところ、電力線との位置や距離との関係で、48箇所の支柱のうち23箇所の支柱に取付金具を追加して設置するよう沖縄電力から指摘があった。そのため、新たに取付金具等を設置する必要性が生じ、この追加製作に時間を要することとなった。	通信施設の設置において、事業開始から完了までの工期短縮を図るため、施行及び関係機関との密な調整が必要である。 特に沖縄電力との調整については、通常は沖縄電力への申請後に調整を行う流れとなるが、不測の事態が生じても契約期間の延長がないよう、事前に沖縄電力へ協力を仰ぎ、調整を行いたい。
今後の取り組み方針		
交付金の活用により、那覇市内の配水系統中ブロック(48箇所)に通信施設を設置したことで、災害時において漏水等の被害箇所を迅速に把握し、効率的に応急給水や応急復旧を行う等の断水被害を軽減できる体制を整え、災害時における危機管理を強化することができた。 今後は、本事業で整備した通信装置から送信されるデータを活用した防災訓練を実施し、予期せぬ災害時においても、より迅速な対応ができるような仕組みづくりに努める。		

今後の取り組み方針

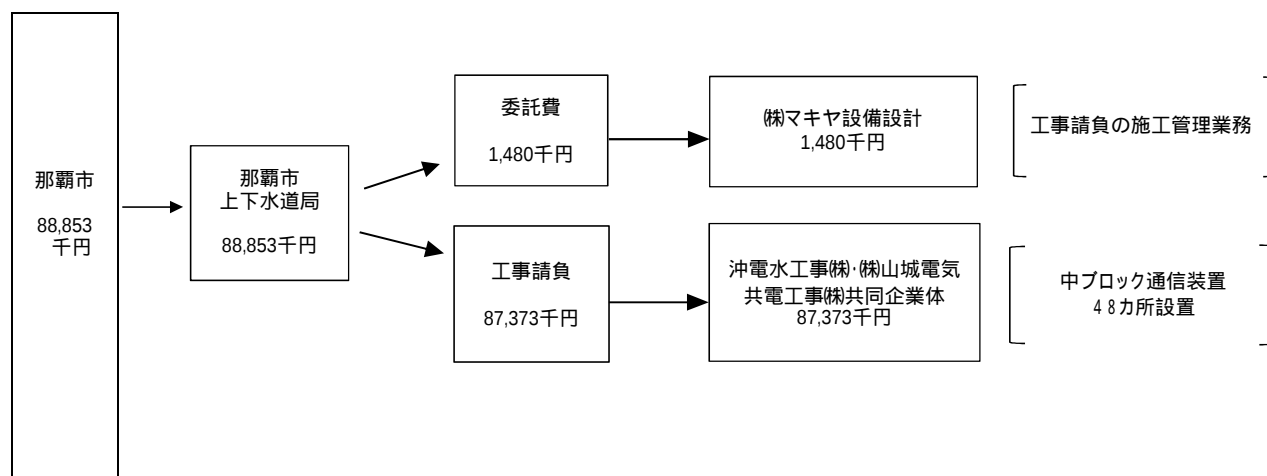
交付金の活用により、那覇市内の配水系統中ブロック（４８箇所）に通信施設を設置したことで、災害時において漏水等の被害箇所を迅速に把握し、効率的に応急給水や応急復旧を行う等の断水被害を軽減できる体制を整え、災害時における危機管理を強化することができた。

今後は、本事業で整備した通信装置から送信されるデータを活用した防災訓練を実施し、予期せぬ災害時においても、より迅速な対応ができるような仕組みづくりに努める。

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 千円)

総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
88,853	88,853	71,080	17,773	0



資金の流れ、費目、 使途の点検評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○ 工事請負業者は、制限付一般競争入札より選定されており妥当なものであった。 ○ 予算規模については、必要かつ最小限での執行に抑え、適正な規模であった。 ○ 費目・使途については事業目的達成の観点から必要なもののか等について、書類及び現場にて確認した結果、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市						
平成 2 5 年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	14-	地下壕対策事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ	
担当部署名	建設管理部 建設企画課		事業実施(予定)年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制の強化 - 12	
事業内容	沖縄の抱える様々な特殊事情(地下壕)に対応するため、陥没、落盤等による建築物等の危険度軽減を目的とした壕の埋戻等を行う。						
実施方法	■ 直接実施 ■ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	25年度(繰越)	26年度	27年度
	予算の状況	(a)当初予算額	5,000	30,288	-		
		(b)予算現額	5,000	21,468	-		
		(c)増減額(b-a)	0	▲ 8,820	-		
		(d)繰越額	-	-	11,755		
		A.計(b+d)	5,000	21,468	11,755		
	B.執行済額		4,200	7,900	11,755		
	うち交付金充当額		3,360	6,320	9,404		
	次年度繰越額		-	11,755	-		
	執行率(%) (B/A)		84.0%	36.8%	100.0%		
予算の状況の説明		実施を予定していた地下壕対策箇所の一部において、民間建築工事の着工に伴い壕の大半が消失したことから、対策工事費が減額となる見込みとなり、8,820千円を2月補正で減額した。また、当初着工を見込んでいた工事箇所について、土地所有者から埋め戻しの同意を得られなかったり、民間の建築工事着工に伴って壕が消失したりしたため、計画変更により不測の時間を要したため、工事費に係る11,755千円を繰越した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
	地下壕の埋戻等の実施:6ヶ所	目 標	(危険度判定及び優先度等提案)	(地下壕の埋戻等の実施:6ヶ所)	()	()	
		実 績	危険度判定及び優先度等提案	地下壕の埋戻等の実施:6ヶ所			
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
	達成状況説明	地下壕対策予定箇所において、対策調査測量設計及び埋戻工事を実施した。 対策の内容 ・繁多川2箇所、具志2箇所、宇栄原2箇所 流動化改良土による埋戻工事					
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	地下壕の危険度の軽減を図る:6ヶ所	目 標	(-)	(基礎調査)	(6ヶ所)	()	()
		実 績		基礎調査	6ヶ所		
		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	那覇市内に現存する地下壕において、平成26年4月末で予定通り地下壕6ヶ所について対策を完了し、陥没、落盤等による建築物等の危険度軽減を図ることができた(全体60箇所に対する実施率10%)。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・壕の埋戻工事について、土地所有者の同意や自治会等の関係機関との調整に不測の時間を要する。 ・市街地開発や民間工事等により、全体調査時から壕の全容が変化(壕の一部消失等)していることがあるため、状況変化への対応が必要である。	・土地所有者や自治会等へのヒアリングを行い、土地所有者及び関係権利者の意向を踏まえた対策工(拝所の機能を損なわないような対策等)を選定できるよう調整を進めることにより、事業の推進を図る。 ・壕の周辺住民等へのヒアリングや関係者・関係部署との連携を強化することにより、より確実な状況把握に努める。
今後の取り組み方針		
平成24年度に那覇市内60箇所の地下壕における基礎調査を行い、平成25年度から対策工事を実施している。今後も壕に関する関係者、関係部署と連携を図り、那覇市内における危険性の高い地下壕について順次、埋戻等の対策を実施し、陥没、落盤等による建築物等の危険度軽減を図る。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
19,655	19,655	15,724	3,931	

那覇市
19,655千円

使用料及び賃借料
20千円

那覇市
20千円

タクシー使用料

委託費
7,880千円

(株)琉球サーベイ
7,880千円

地下壕対策調査測量設計業務委託

工事請負費
11,755千円

(有)沖設エンジニア
11,755千円

地下壕対策埋戻工事

資金の 使途の 流れ、 費目、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○ 委託及び工事の業者は競争入札により選定しており、妥当であったと考えている。 ○ 予算規模について、不用額は入札残等であり、適正であったと考えている。 ○ 費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものであり適正である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市						
平成 2 5 年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	14-	まちづくり拠点施設整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 2 - (7) - ア	
担当部課名	市民文化部	まちづくり協働推進課	事業実施(予定)年度	平成24～25年度	沖縄振興基本方針該当箇所	県民の社会参加活動の促進と協働の取組の推進 - 12	
事業内容	沖縄の抱える様々な特殊事情(軍用地接収により生じた地域コミュニティの課題)に対応するため、まちづくりのための団体等の育成拠点と、産業振興と雇用拡大に資するITインキュベート施設を整備する。						
実施方法	■ 直接実施 ■ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	25年度(繰越)	26年度	27年度
	予算の状況	(a)当初予算額		485,691	-		
		(b)予算現額		485,691	-		
		(c)増減額(b-a)		0	-		
		(d)繰越額		-	485,691		
		A.計(b+d)		485,691	485,691		
	B.執行済額			0	451,726		
	うち交付金充当額			0	361,380		
	次年度繰越額			485,691	-		
	執行率(%) (B/A)			0.0%	93.0%		
予算の状況の説明		不用額は、落札差額で生じたものであり、施設整備の達成状況は適正である。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	建設工事、機械工事、電気工事等の実施	目 標	()	(建設工事、機械工事、電気工事等の実施)	()	()	
		実 績		実施完成			
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	行政庁舎であった旧銘苅庁舎を市民団体や企業インキュベート施設を併設する「協働によるまちづくり」の活動拠点となる「なは市民協働プラザ」への改修工事として、既設内装、建具、屋上設備を撤去し改修工事を施工、施設開設(H27.4.1)。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	まちづくり拠点施設・ITインキュベート施設の建設着手	目 標	()	()	(建設着手)	()	()
		実 績			施設開設		
		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	旧銘苅庁舎の内装を撤去、設備を一新する改修工事を実施、「協働によるまちづくり」の活動拠点となる「なは市民協働プラザ」を開設(H27.4.1)。施設内の各種施設を利用する各種団体や企業が連携することで、市の住民自治、地域コミュニティの活性化に資する、協働によるまちづくりの核となる施設として期待される。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	平成15年建築の旧銘苅庁舎を公共施設の再編整備、既存施設の活用の観点から、市の重要施策である「市民との協働活動の拠点施設」及び情報通信関連産業の創出のための「ITインキュベート施設」の複合施設として改修することとした。当初設計では再利用を想定していた天井下地、床仕上材が実際は使用困難な状態だったため、設計変更に至り、整備計画に遅れが生じた。	既存施設の改修工事であることから、建物の想定以上の老朽化などで変更が生じ、当初見込みより延長しての完成となった。既存施設の場合は、当初段階においても今後の計画に変更が生じる可能性について慎重に検討する必要がある。
今後の取り組み方針		
予定外の計画変更によって整備に遅れが生じたが、まちづくり拠点整備施設の完成により、利用する市民団体及び企業が相互に連携することで「協働によるまちづくり」の拠点施設として位置づけられる、地域コミュニティの活性化及び住民自治の発展につながる施設として活用していきたい。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金
	451,726	451,726	361,380	90,346
那覇市 451,726千円	委託料 5,921千円	(株)都市建築設計 5,921千円	まちづくり拠点施設改修工 事業務委託(工事監理)	
	使用料及び賃借 料102千円	沖縄県タクシー・ハイヤー協会 102千円	タクシー使用料	
	工事請負費 421,402千円	(株)丸元建設 199,148千円	まちづくり拠点施設改修工事(建 築)	
		那覇電工・ゼネラル電設・ マテックス 共同企業体 117,142千円	まちづくり拠点施設改修工事(電気) (株)那覇電工・(株)ゼネラル電設・(株)マテックス	
		沖縄環境企画・栄健・ 東興産業 共同企業 体 105,112千円	まちづくり拠点施設改修工事(機械) 沖縄産業企画(株)・栄健(株)・(株)東興産業	
	備品購入費 24,301千円	(有)システム・エヌ 519千円	まちづくり拠点施設改修工事に かかる備品(視聴覚教材類)	
		(有)神原三洋 179千円	(電化製品類)	
		(株)オキジム那覇支店 8,964千円	(事務用品)	
		(株)安木屋 8,802千円	(事務用品)	
		(有)よしの照会 2,646千円	(ブラインド一式)	
		(有)AM科学 317千円	(キッズスペースマット)	
		(有)エスティ通信 1,892千円	(防犯カメラ一式)	
		沖縄テクノ 453千円	(美術バトナー一式)	
		(株)正太商事工業 291千円	(消火器)	
		(有)明伸商事 238千円	(郵便受け)	
資金の 使途の 流れ、 検証 評価	評価	点 検 項 目		評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。		○ 委託及び工事の業者選定は、入札により決定であり、妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		○ 予算規模については、交付金対象外費が生じたため不 用額が発生したが、当初の想定外であり概ね適正と考える。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。		○ 費目・使途は、事業目的達成のため、必要かつ適正な ものであった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	那覇市						
平成 2 5 年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	14-	良好な市街地形成に向けた共同墓(納骨壇及び合葬室)整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(6)-ア		
担当部課名	環境部 環境保全課	事業実施(予定)年度	平成24～25年度	沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄らしい風景づくり		
事業内容	沖縄の抱える様々な特殊事情(墓地問題)に対応し、良好な市街地形成を図るため、識名霊園内北納骨堂の整備及び拡充を実施する。						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	24年度(繰越)	25年度	25年度(繰越)	27年度
	予算の状況	(a)当初予算額	330,143	-	53,894	-	
		(b)予算現額	330,143	-	53,894	-	
		(c)増減額(b-a)	0	-	0	-	
		(d)繰越額	-	326,184	-	1,925	
		A.計(b+d)	330,143	326,184	53,894	1,925	
	B.執行済額		3,959	278,265	46,873	1,836	
	うち交付金充当額		3,167	222,612	37,498	1,469	
	次年度繰越額		326,184	-	1,925	-	
	執行率(%) (B/A)		1.2%	85.3%	87.0%	95.4%	
予算の状況の説明		土木工事の作業効率低下による遅れから、新管理事務所の供用開始及び旧管理事務所の解体工事遅れ、解体後の跡地利用整備計画を修正した。平成25年度に46,873千円執行し、1,925千円繰越した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	施設の外構工事 霊園旧管理事務所の解体 施設運用に要する備品類購入	目 標		施設外構工事 施設備品購入 (旧管理事務所解体)	()	()	
		実 績		施設外構工事 施設備品購入 旧管理事務所解体			
	[平成24年度活動目標] 那覇市民共同墓施設の整備	目 標	(4,400壇の設置)	()	()	()	
		実 績	納骨壇4,424壇設置 合葬室設置				
達成状況説明	合葬室(永代使用) 20,000体埋蔵、合葬用納骨室(12年使用・32年使用)2,612壇、短期収蔵納骨室1,812壇設置した施設が平成26年3月31日に竣工した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	施設の外構工事 霊園旧管理事務所の解体 施設運用に要する備品類購入	目 標	()	()	施設外構工事 施設備品購入 (旧管理事務所解体)	()	()
		実 績			施設外構工事 施設備品購入 旧管理事務所解体		
	[平成24年度成果目標] 那覇市民共同墓施設の整備	目 標	()	4,400壇の設置、合葬室設置	()	()	()
		実 績		4,424壇設置 合葬室設置			
	進捗状況説明	平成25年8月1日に外構土木工事契約、平成26年3月竣工。平成25年12月24日外構植栽工事契約、平成26年3月竣工。平成26年3月施設備品購入した。平成26年4月、既存管理事務所の解体工事を実施した。また、努力目標としていた案内板も平成26年9月に設置した。平成26年4月より募集開始した結果、許可件数は合計538件となり、その内訳は、合葬室341件(直葬170件、生前予約171件)、合葬用納骨室77件、短期収蔵納骨室120件であった。当施設の整備が市民の墓地需要に応え、個人墓の立地を抑制し、墓地の無縁化防止になることから、良好な市街地形成に寄与することが期待される。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化) ・墓地の散在、無縁化状況を改善するための共同墓は、全体的に予想を上回る申込があった。 ・今後も核家族の増加に伴う墳墓管理が困難となる状況が予想される。	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点) 新規墓地の抑制に寄与できたと考えられる。今後は、新規墓地の抑制に加え、既存墓地の無縁化防止に努めていきたい。また、無許可の墓地建設を防止と、核家族の増加に伴う墳墓管理が困難となる状況を見据えて、市民共同墓の案内、情報提供(広報活動)を行い、良好な市街地形成への協力を求めている。
	今後の取り組み方針 今後は、新規墓地の抑制に加え、既存墓地の無縁化防止に努めていきたい。また、無許可の墓地建設を防止し、核家族の増加に伴う墳墓管理が困難となる状況を見据えて、「那覇市民の友」への掲載、自治会活動等における出前講座への参加に努め、市民共同墓の案内、情報提供(広報活動)を行い、当施設の使用推進により、良好な市街地形成への協力を求めている。	

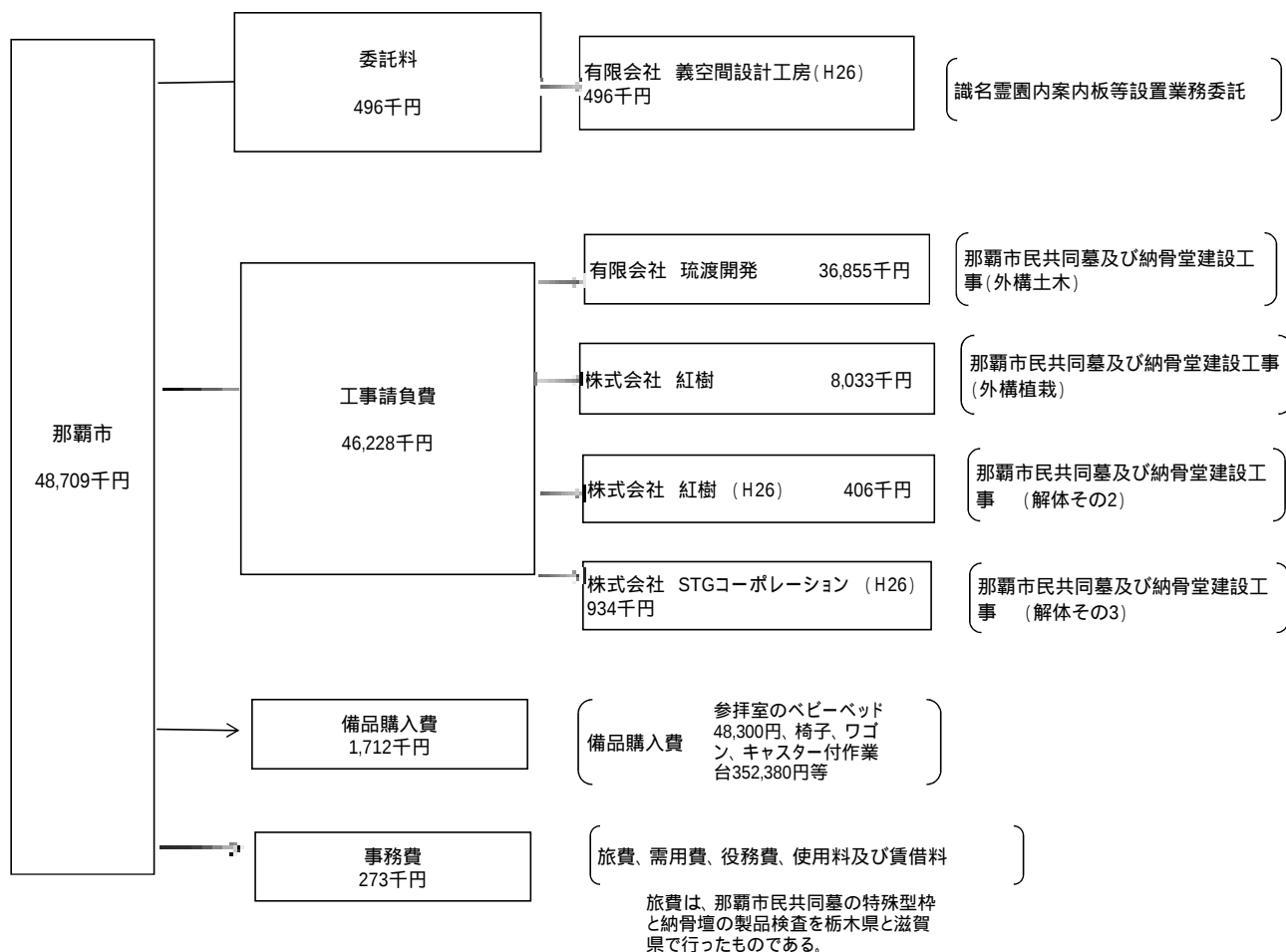
今後の取り組み方針

今後は、新規墓地の抑制に加え、既存墓地の無縁化防止に努めていきたい。また、無許可の墓地建設を防止し、核家族の増加に伴う墳墓管理が困難となる状況を見据えて、「那覇市民の友」への掲載、自治会活動等における出前講座への参加に努め、市民共同墓の案内、情報提供（広報活動）を行い、当施設の使用推進により、良好な市街地形成への協力を求めて行きたい。

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象 事業費			交付対象 外経費
		交付金 充当額	市町村 負担金	
48,709	48,709	38,967	9,742	0



資金の流れ、費目、使途の点検評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・工事請負業者は、一般競争入札により選定されており、妥当であると考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・随意契約は、地方自治法施行令第167条の2第1項第1号に定める範囲内契約されており、妥当であると考える。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	・執行率95.4%となっており、予算規模は事業内容に見合った適正な規模と考える。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	・費目、使途は事業目的に沿っており、真に必用なものと考えられる。